

# リアホナ

**わたしたちが  
伝道する理由, 28ページ**

嘆く代わりに, わたしたちは  
喜びます, 14ページ

太平洋地域の開拓者たち, 22ページ

リュックサックの中の  
ガラガラヘビ, 48ページ





「すべての人は  
キリストの光、  
すなわち一人一人に  
善悪の違いを  
理解させる  
指針となる力を持って  
生まれてきます。  
この光を受けて  
何を行うのか、  
義にかなった生活を  
送るようにとの促しに  
どのように  
応えるのかは、  
現世で受ける  
試しの一部です。」

十二使徒定員会会長  
ボイド・K・バッカー会長  
「わたしの知っていること」  
『リアホナ』2013年5月号, 8



メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——  
神の刈り入れ  
ディーター・F・ウークトドルフ管長
- 7 家庭訪問メッセージ——  
イエス・キリストの神聖な使命  
——メシヤ

特集

- 18 強く、また雄々しくあれ  
崔 崙煥長老  
隊長が差し出すお酒をわたしが飲ま  
なかったら、仲間の警護隊員たちは  
罰せられることになるのでしょうか。
- 22 世界各地の開拓者たち——  
トンガ——神に奉献された地  
ハーバリーン・K・セコナ  
トンガの国王ジョージ・トゥポウ  
1世は、175年前にトンガを神に奉献  
しました。トンガの聖徒たちは今日  
も自らを奉献し続けています。
- 28 なぜ福音を分かち合うのか  
D・トッド・クリストファーソン長老  
福音を分かち合うことは単なるプロ  
グラムではありません。それは大義  
すなわち、御父と御子と聖なる御霊  
の大義なのです。
- 34 神の永遠の聖約  
アブラハムの聖約がわたしたちの  
時代と福千年にどのように成就して  
いくかを学んでください。

シリーズ

- 8 2014年4月の大会ノート
- 11 旧約聖書の預言者たち——  
ヨブ
- 12 キリストについて語る——  
将来をともに過ごすという約束  
ジャロリン・バラード・スタウト
- 14 わたしたちの家庭、  
わたしたちの家族——  
息子がどこにいるか分かります  
エルナンド・バスト
- 16 教会のニュース
- 38 末日聖徒の声
- 80 また会う日まで——  
恐れを信仰と置き換える  
キャサリン・ネルソン

表紙  
表紙——写真/レスリー・ニルソン  
表紙裏——写真/ジェyson・リンゼー





42

42 多年にわたって住むかのように  
この地で行動する

デニス・C・ゴート

わたしたちはいつも現状に満足できるわけではありません。しかし、それでも幸せを感じることはできるのです。

46 天の御父は「いいえ」と「はい」と  
言われた

アンジェリカ・ハグマン

神がわたしの祈りに「いいえ」と言われたとき、神が真に言っておられるのは、「今ではない」ということでした。



こんげつごう なか  
今月号の中に  
かく  
隠れている  
リアホナを  
さが  
搜しましょう。  
ヒント——  
ひつじ  
羊になったら  
いけません。



60

48 最も知る価値のある真理

ボイド・K・パッカー会長

リュックサックの中でガラガラヘビを飼っているようなことをしないでください。完全に悔い改めることは可能なのです。

52 わたしたちのスペース

53 ポスター—— 同僚宣教師

54 バナナブレッド宣教師

ミンディー・レイ・フリードマン

バナナブレッドはおいしいです。でも、この青年たちはもっとおいしいものを持っています。

56 伝道地から—— 空港での奇跡

トーマス・E・ロビンソン 3世

間もなく離陸時間だというのに、わたしたちは航空券を買うことができました。

58 質疑応答

わたしの母は一日中働いています。どうすれば親子の関係を改善できるでしょうか。

60 若人の強さのために——  
重力に打ち勝つ——

信仰をもって前進する

ポニー・L・オスカーソン

教会の標準に一貫して従うとき、わたしたちはサタンの影響力に抵抗することができます。

62 結婚はなぜ素晴らしいのですか！

ベン・ニールセン、レイチェル・ニールセン

わたしたちは結婚生活を楽しんでいきます。その理由は……。



72

65 特別な証人——

教会が真実であると

信じているだけで今は十分ですか？

ジェフリー・R・ホランド長老

66 すばらしい 考え

67 わたしはせいいいを感じました

以真

わたしの弟はけがをしました。わたしはどうしたらよいでしょうか。

68 アイサの祝福

マッケンジー・バン・エンゲレンホーベン

アイサのお父さんは教会員ではありませんでした。彼女は、状況が少しでも良くなるように願いました。

70 やさしいライオン

山下和彦長老

ランバートはオオカミが現れるまで、自分は羊だと思っていました。

71 わたしたちの ページ

72 せかいの 友だち——

わたしは トングの カロニです

エイミー・ジェーン・レビット

74 初等協会を かていでも——

けんぜんな かつどうは

わたしの かぞくを 強めます

ジェニファー・マディー

76 小さな みんなのために——

エリの 友だち

ジェーン・ニッカーソン



# 家庭の夕べのためのアイデア

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に二つの例を挙げます。



「バナナブレッド宣教師」54 ページ——  
家族と一緒にバナナブレッド(または家族が好きな他のおやつ)を作り、家族が福音を分かち合いたいと望む人々に届けてみてください。バナナブレッドを配った宣教師が伝えたのと同じメッセージを伝える、教会の活動に誘う、パスアロングカードを添えるなどをするとよいでしょう。

「けんぜんな かつどうは わたしの かぞくを 強めます」74 ページ——今月は「子供たちが選んだ」家庭の夕べをしてみてください。子供には自分たちが一番面白いと思う活動、レッスン、テーマを選ばせ、順番に担当してもらいます。活動やレッスンを選ぶときは、家族みんなの必要を考えるよう、それぞれの子供に促してください。

## あなたの言語で

[languages.lds.org](http://languages.lds.org) で、「リアホナ」や、教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。

## 今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

イエス・キリスト, 7, 48

折り, 46, 67

改心, 14, 22, 28, 40

開拓者, 22

家族, 12, 14, 38, 53, 58,

62, 68, 74

神の性質, 70

希望, 12, 14

悔い改め, 48

結婚, 12, 46, 62

娯楽, 74

従順, 18

祝福師の祝福, 12

訓練, 11, 12, 14

贖罪, 48

神権, 34, 39, 68

信仰, 12, 14, 18, 60, 65,

80

聖約, 34

聖霊, 56, 60, 67

選択の自由, 42

知恵の言葉, 18

伝道活動, 22, 28, 41, 53,

54, 56

友達, 52, 76

忍耐, 4, 11

ボルノグラフィー, 48

労働, 4



大管長会第二顧問  
ディーター・F・  
ウークトドルフ管長

# 神の 刈り入れ

**か**つて、クリスタという名前の女性が、種を販売する小さな会社で働いていました。クリスタは自分の仕事が大好きでした。自分の売っているとても小さな種の一つ一つが、ニンジンやキャベツ、さらには大きなかしの木など、まったく奇跡的なものへと姿を変える力を秘めていることに、非常に大きな驚嘆の念を覚えました。

クリスタはコンピューターの前に座って注文を受けたり、質問に答えたりするのがとても好きでした。ところがある日、寄せられた1件の苦情に困惑してしまいました。

「種から芽が出ないんです」と、その客は言いました。「2か月前に買ったのですが、いまだに何も出てきません。」

「良い土にまいて、水と日光を十分に与えましたか」と、クリスタは尋ねました。

「いいえ、でも自分のやるべきことはやりました」と客は答えました。「種を買いましたので、育つことは間違いないのですから。」

「でもまかななかったのですよね。」

「もちろんです。そんなことをしたら手が汚れてしまいます。」

クリスタはこの苦情について考え、まき方の説明を書いておく必要があると思いました。まず次のように書くことにしました。「種が芽を出すように、指示に従ってまいてください。棚に置いたままでは生長は期待できません。」

程なくして、別の苦情に当惑することになりました。

「実がならないんですけど」と客が言いました。

「良い土にまきましたか」とクリスタは尋ねました。「適量の水と日光を与えましたか。」

「はい。」客はきっぱりと言いました。「全部やりました。」

パッケージに書いてあるとおりにしました。でも育たないのです。」

「まったく育ちませんか。芽は出ましたか。」

「何も出てきません」と客は言いました。「説明書きのおりに種をまきました。夕食にトマトを食べたいと思っていたので、とてもがっかりです。」

「待ってください」とクリスタは答えました。「今日種をまいたということですか。」

「そんなわけないじゃありませんか」と客は答えました。「1週間前です。1日でトマトがなるなどとは期待していません。辛抱強く取り組みました。種をまいてから今まで、たくさん水をやり、ずっと待ってきたのです。」

クリスタは、説明を書き加える必要があることを知りました。「これらの種は生物学の法則に従って育ちます。朝、種をまき、その週のうちにトマトを食べるつもりでいるとしたら、落胆することになるでしょう。自然の営みが目の前で展開するのを忍耐強く待たなければなりません。」

すべてがうまくいっていましたが、やがてまた別の苦情が寄せられました。

「そちらの種にはとてもがっかりしています」と、客は話し始めました。「パッケージで勧められているとおりにまきました。水をやり、きちんと日が当たるようにして、ずっと待ってようやく実がなりました。」

「上手に栽培なさったようですが」とクリスタは言いました。

「まったく順調でした」と客は答えました。「ただ、なったのがズッキーニだったんです。」

「こちらの記録では、それがお客様のご注文になった種のようなのです」とクリスタは言いました。





「でも欲しいのはズッキーニではなく、カボチャなのです。」

「おっしゃっていることがよく分からないのですが。」

「わたしはカボチャの畑に種をまいたのです。去年カボチャがなったまさにその同じ土地です。毎日、褒め言葉をかけ、君たちはどれほど見事なカボチャになることだろう、と語りかけてきました。ところが、大きな丸いオレンジ色のカボチャではなく、長い緑色のズッキーニがなったのです。それも大量に。」

そのときクリスタは、説明書きが十分ではなく、次の原則を述べておく必要があることを知りました。「収穫は、まいた種と、まいた時期によって決まります。」

### 刈り入れの律法

使徒パウロは、神の刈り入れについて次のように教えています。

「まちがってはいけない、神は侮られるようなかたではない。人は自分のまいたものを、刈り取ることになる。

すなわち、自分の肉にまく者は、肉から滅びを刈り取り、霊にまく者は、霊

から永遠のいのちを刈り取るであろう。

わたしたちは、善を行うことに、うみ疲れてはならない。たゆまないでいると、時が来れば刈り取るようになる。」  
(ガラテヤ 6:7-9)

現代において、主はこの変わることのない律法についてさらにわたしたちに知恵と理解を授けてくださっています。

### このメッセージから教える

**神**の刈り入れの律法が、人間関係、改心あかしや証、あるいは職業や教育における目標にどのように当てはまるかを訪問先の人たちと話し合ってください。箴言 11:18; 2 コリント 9:6; アルマ 32 章など、この律法に関連した聖句を読んで考えてもよいでしょう。義にかなった結果を得るために以前に立てた目標を見直し、新しい目標を設定するように勧めてください。長期的な目標の達成に向けて堅実に行動するための計画を立てられるように助けてください。

「創世の前に天において定められた不変の律法があり、すべての祝福はこれに基づいている。

すなわち、神から祝福を受けるときは、それが基づく律法に従うことによるのである。」(教義と聖約 130:20 - 21)

わたしたちは自分のまいたものを刈り取ります。

神の刈り入れは想像も及ばないほど栄光に満ちたものです。神をあがめる人々には、神の豊かな祝福が、「おし入れ、ゆすり入れ、あふれ出るまでに量をよくして」もたらされます。「あなたがたの量るその量りで、自分にも量りかえされる」からです(ルカ 6:38)。

地上の種と同じように、天の祝福も多くの場合、努力と忍耐が求められます。わたしたちの宗教を棚に置いたままでは、霊的な祝福を刈り取ることは期待できません。しかし、家族の日々の生活に福音の標準を植えて養い育てるなら、子供たちが成長するときに、彼らと将来の子孫にとって大いに価値のある霊的な実を結ぶ可能性が高くなります。

わたしたちの祈りに対する神の答えはすぐに与えられるとは限りません。時にはまったくやって来ないように思われることもあります。しかし、神は御自分の子供たちにとって何が最善かを御存じです。きっといつの日か、わたしたちはもっとはっきり見えるようになるでしょう。そしてその日には、天は慈しみをもって惜しみなく与えてくださるといことが分かるでしょう。

そのときまで、わたしたちの主であられる救い主の足跡をたどり、善良で気高い生活を送ることが、わたしたちの目標であり、大きな喜びです。そうすることによって、約束された、貴くかけがえのない神の祝福を刈り取ることができるのです。

わたしたちは自分のまいたものを刈り取ります。

それが天の律法です。

それが神の刈り入れの律法なのです。■

## かり入れを 計画する

かみの かり入れの りっぼうは、もしも 後で 何か ほしいものがあるなら、そのために 今 どりよくしなければ ならないということです。はたけで やさいや 花を そだてたいと 思ったら、まず たねを まき、水を やり、ざっそうから まもらなければ なりません。それを しなければ、後で 何も かり取ることは できないでしょう。

この はたけには、みなさんが これからの 人生で、手に 入れたいと 思う よい「み」が なっています。下の 線に、これらの しゅくふくを うけるために、今月 自分に できることを いくつか 書いてください。





祈りをもってこの資料を学び、何を伝えるべきか分かるよう祈り求めてください。  
救い主の生涯と使命が理解できるようになると、救い主を信じるあなたの信仰はどれほど増し、  
家庭訪問を通してあなたが見守っている姉妹にどれほど祝福が注がれるでしょうか。  
詳しくは [reliefsociety.lds.org](http://reliefsociety.lds.org) [英語] をご覧ください。

## イエス・キリストの 神聖な使命—— メシヤ

本記事は、救い主の使命の様々な面に  
焦点を当てた家庭訪問メッセージシリーズの  
一環です。

わたしたちは「聖なるメシヤの  
功徳と憐れみと恵みによ〔つ  
て〕」神の前に住むことができると、  
聖文は教えています（2ニーファイ  
2：8）。メシヤとは、「『油注がれた  
者』の意のアラム語とヘブライ語」  
です。「『新約聖書』でイエスはキリ  
ストと呼ばれているが、これはメシ  
ヤに相当するギリシャ語である。そ  
の意味は油注がれた預言者、祭司、  
王、救い主であ〔る〕。』<sup>1</sup>

十二使徒定員会のジェフリー・R・  
ホランド長老は次のように証して  
います。「わたしは知っています。  
〔イエス・キリスト〕はイスラエルの  
聖者であり、いつの日か究極の栄光  
をまとって再び来て、主の主、王の王  
として地上を統治するメシヤであら  
れます。……わたしは、この他には  
人に救いを与えることのできる名は  
天下に与えられていないことを知っ  
ています。』<sup>2</sup>



大管長会第二顧問のディーター・  
F・ワークトドルフ管長は次のように  
述べています。「〔イエス・キリスト〕  
は世の救い主であり贖い主であり、  
約束されたメシヤです。主は完全な  
生活を送り、わたしたちの罪を贖っ  
てくださいました。主はいつもわた  
したちのそばにおられ、わたしたち  
の闘いをもとに闘ってくださいます。  
主はわたしたちの希望であり、救い  
であり、道です。』<sup>3</sup>

### その他の聖句

ヨハネ 1：38 - 41；4：25 - 26，40  
- 42；2ニーファイ 6：13；25：16  
- 17

#### 注

1. 聖句ガイド「メシヤ」の項。lds.org/scriptures/  
gs?lang=jpn から閲覧できる
2. ジェフリー・R・ホランド「唯一のまことの神と、そ  
の神がつかわされたイエス・キリスト」『リアホナ』  
2007年11月号、42参照
3. ディーター・F・ワークトドルフ「キリストの弟子と  
して歩む道」『リアホナ』2009年5月号、78



信仰・家族・扶助

### 聖文から

キリストの女性の弟子たちは、メ  
シヤとしての主の役割についての  
証人となってきました。マグダラ  
のマリヤはイエス・キリストの弟子  
であり、キリストが復活された朝に  
「墓から石がとりのけてあるのを」  
最初に見た人物でした。主のなき  
ながらも墓にないことを知って、  
マリヤは「墓の外に立って泣いて」  
いました。

その後、「うしろをふり向くと、そ  
こにイエスが立っておられるのを見  
た。しかし、それがイエスである  
ことに気がつかなかった。

イエスは女に言われた、『女よ、  
なぜ泣いているのか。だれを捜し  
ているのか。』マリヤは、その人が  
園の番人だと思って言った、『もし  
あなたが、あのかたを移したので  
したら、どこへ置いたのか、どうぞ、  
おっしゃって下さい。わたしがその  
かたを引き取ります。』

イエスは彼女に『マリヤよ』と言  
われた。マリヤはふり返って、イエ  
スにむかってヘブル語で『ラボニ』と  
言った。それは、先生という意味で  
ある。』マリヤはその御方が園の  
番人ではなく、メシヤであるイエ  
ス・キリストであられることに気づ  
いたのでした（ヨハネ 20：1 -  
17 参照）。

### 考えてみましょう

メシヤとしての救い主の役割を理解  
することはなぜ大切なのでしょうか。

# 2014年4月の大会ノート

「主なるわたしが語ったことは、わたしが語ったのであ〔る。〕……  
わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、それは同じである。」(教義と聖約1:38)

2014年4月の総大会を復習する際に、このページ(および今後の「大会ノート」)を使って、  
生ける預言者と使徒、他の教会指導者の最近の教えを学び、生活に取り入れることができます。

## 教義的な重要点



結婚と純潔

## 神の律法を最優先する

「宗教という言葉は、神と……『元のように結ばれる』という意味です。わたしたちは次のように自問するべきです。わたしたちは、神としっかり結ばれ、信仰が表れているだろうか。そうではなく、実は他のものと結ばれているだろうか。……神よりも他のことを優先する人が大勢います。……神の律法が常にわたしたちの標準とならなければなりません。論争の的となっている問題に対処するとき、わたしたちはまず神の導きを求めるべきな

のです。……

人々の喝采を得たいという誘惑により、神の言葉よりも世論を優先することがあります。……たとえ『皆がそれを行っている』としても間違いは決して正しくないのです。……皆さんが神にしっかりと結ばれるように、また神の永遠の真理が皆さんの心いつまでも刻まれるように祈ります。」

十二使徒定員会  
ラッセル・M・ネルソン長老  
「信仰を表す」  
『リアホナ』2014年5月号, 29, 30, 31

lds.org/go/priorities814であなたの優先順位を  
評価するための方法を学んでください。

## 預言者の約束



## 希望

「わたしは皆さんに提案します。皆さんの家族に希望をもたらす受け継ぎを与えようとするとき、物事を短期的かつ長期的に考えてください。……早い時期、つまり皆さんの愛する人が幼いときにできることがあります。毎日の家族の祈り、家族の聖文学習、聖餐会で分かち合う証、こういったものは子供たちが幼いときにより伝わりやすく効果的だということをお忘れしないでください。……わたしたちが信仰をもって自分の行えることを全て行った後、わたしたちの家族のために想像できないほどの大きな祝福を望むわたしたちを、主は正当と見なしてください。」

大管長会第一顧問 ヘンリー・B・アイリング管長  
「希望をもたらす貴い受け継ぎ」  
『リアホナ』2014年5月号, 25

lds.org/go/legacy814であなたの家族のために受け継ぎを残す方法を見つけてください。





### 行っていく

モンソン大管長はわたしたちにこう勧めました。「この大会のメッセージが……『リアホナ』(に)印刷されたときには、わたしたちが時間を取って、大会のメッセージを読むことを願っています。それらのメッセージは注意深く読み返し、研究するのに値するものです。」

「また逢う日まで」『リアホナ』2014年5月号、115



## 空欄を埋めましょう

1. 「\_\_\_\_\_ が家族を守……る力を備えていることを知り得たのは、それらについて祈ったからです。」 [lds.org/go/reeves814](http://lds.org/go/reeves814) またはリンダ・S・リーブズ姉妹「ポルノグラフィからの保護——キリストを中心とする家庭」17 参照。
2. 「……知識は、個人的に \_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_ ことによつてのみ与えられるのです。」 [lds.org/go/packer814](http://lds.org/go/packer814) またはボイド・K・バッカー会長「証人」94 参照。
3. 「福音は……『重荷ではなく \_\_\_\_\_』であり、支えとなるものです。」 [lds.org/go/stevens814](http://lds.org/go/stevens814) またはジョン・A・スティーブズ姉妹「恐れてはならない、わたしはあなたと共にいる」83 参照。
4. 「従順は…… \_\_\_\_\_ に頼るのか、それとも、神の無限の知恵や力に頼るのかの選択です。」 [lds.org/go/perry814](http://lds.org/go/perry814) またはL・トム・ペリー長老「忠実さから生まれる従順」103 参照。

☺☺

考え—— 1. エルソンの書 2. 折り、深  
考えよ。 3. 愛、自分の隣に知照

## 類似点を見つける



## 愛する

**非**常に重要なテーマについて、複数の話者が総大会で話しています。愛について、3人の話者が語ったことを次に挙げます。

- 青少年に向けて——「元気を出してください。本当の義から流れ出る、キリストのように純粋な愛には、世界を変える力があります。」——ジェフリー・R・ホルランド長老、「弟子として歩むことに伴う犠牲と祝福」8
- 女性に向けて——「年齢や文化、状況の違いを超え[る]とき、キリストの純粋な愛……に満たされるでしょう。」——ボニー・L・オスカーソン姉妹「姉妹のきずな——わたしたちは何と互いを必要としていることでしょう」121
- 男性に向けて——「わたしたちは……、神と隣人を愛する民になる決意をしています。そして、言葉と行いを通して進んでその愛を示します。それがイエスキリストの弟子としてわたしたちがあるべき本来の姿です。」——データー・F・ワークトドルフ管長「回復の業が進む間ずっと眠っていますか」61

モンソン大管長とその他の指導者が全ての人に愛を示すことについて何と述べているか [lds.org/go/love814](http://lds.org/go/love814) で学んでください。



## 神 権

「神権の力はわたしたち全員に祝福をもたらします。」十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老は「神権の鍵と権能」という話の中でそう言いました。「神権の鍵は男性同様、女性にも指示を与え、また神権の儀式と神権の権能は男性同様、女性にも関わり

があります。」わたしたち誰もが神権について一層理解する必要があるため、オークス長老は神権の力と鍵、権能についての大会説教の中で鍵となる原則について明らかにしました。以下の質問はオークス長老のメッセージを研究するうえで役立つでしょう。

### 考えてみましょう —

- 神権の鍵とは何でしょうか。それらはなぜ必要なのでしょうか。
- 神権の鍵と神権の権能の間にはどのような関係があるのでしょうか。
- 神権の祝福は、性別によって制限されるのでしょうか。
- 現在のわたしの割り当てや召しにおいて、わたしは果たすべきどのような責任を担っているだろうか。
- この説教から、わたしに対する神の愛についてどのようなことを学べるだろうか。また、疑問を抱いている人にそれをどのように分かち合えるだろうか。

### わたしにとって、以下のことはどのような意味があるでしょうか —

- 神権の鍵を持つ人から割り当てや召しを受けるとき、どのような権能が授けられるのでしょうか。

lds.org/go/oaks814 でこの説教について研究することができます。

## あなたのための答え

各大会で、預言者と使徒は教会員が抱くかもしれない疑問に靈感を受けて答えています。それらの疑問への答えを見つけるには、『リアホナ』2014年5月号を読むか、[lds.org/general-conference?lang=jpn](https://lds.org/general-conference?lang=jpn) にアクセスしてください。

- 復活は、ナザレのイエス・キリストが本当はどのような御方なのかについての疑問をどのように解決してくれるのでしょうか。[lds.org/go/dtc814](https://lds.org/go/dtc814) にアクセスするか、D・トッド・クリストファーソン長老の「イエス・キリストの復活」(111ページ)を参照してください。
- 従順と選択の自由の間にはどんな関係があるのでしょうか。[lds.org/go/hales814](https://lds.org/go/hales814) にアクセスするか、ロバート・D・ヘイルズ長老の「もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしの戒めを守るべきである」(35ページ)を参照してください。
- 神聖な聖約を交わし、それを守るとき、わたしたちはどのような祝福を受けられるのでしょうか。[lds.org/go/wixom814](https://lds.org/go/wixom814) にアクセスするか、ローズマリー・M・ウィクソム姉妹の「聖約を守ることは、わたしたちを守り、備え、強めます」(116ページ)を参照してください。



# ヨブ

「教会員は、ヨブほどの確信や堅忍を求められることはないでしょう。」<sup>1</sup>——十二使徒定員会 ジョセフ・B・ワースリン長老 (1917-2008年)

わたしは神を恐れ、悪から遠ざかった人として知られていました。<sup>2</sup> 主はわたしを祝福し、7人の息子と3人の娘を授けてくださいました。また、「羊七千頭、らくだ三千頭、牛五百くびき、雌ろば五百頭」、非常に多くの僕などの豊かな物質的富を与えてくださいました。<sup>3</sup>

サタンは、もしわたしがこの世の富を失うなら、義にかなった生活をやめて主を呪うだろうと考えました。主はサタンにわたしを試すことをお許しになりました。ただし、わたしの体を傷つけてはならないとお命じになりました。サタンはわたしの家畜が盗まれるか殺されるように謀り、大風を送って、わたしの家を倒し、中にいたわたしの10人の子供の命を奪いました。わたしは主を呪うことなく、「上着を裂き、頭をそり、地に伏して〔主を〕拝し」ました。<sup>4</sup>

わたしが神を呪おうとしなかったのを

見たサタンは、肉体的な試練を与えたいと望みました。主はそうすることをサタンにお許しになりましたが、わたしの命を奪ってはならないとお命じになりました。サタンは「足の裏から頭の頂まで、いやな腫物をもって」わたしを悩ました。<sup>5</sup> それでもわたしは忠実さを貫き通し、主を呪うことを拒みました。友人たちはわたしとともに嘆き悲しみました。

友人たちは、わたしが悪いせいで苦しんでいるのだから、悔い改めなければならぬと言いました。しかし、わたしは自分が義人だと知っていました。<sup>6</sup> 主は後に、友人たちに悔い改めるようにお命じになりました。そして、燔祭をささげ、自分たちのためにわたしに祈ってもらうように言われました。<sup>7</sup>

主はわたしの忠実さを見て、わたしの大きな苦難を取り除き、「財産を二倍に増され」という祝福をお与えになりました。<sup>8</sup> 今やわたしには

「羊一万四千頭、らくだ六千頭、牛一千くびき、雌ろば一千頭」だけでなく、息子7人と娘3人があります。<sup>9</sup> 主はわたしの信仰と忍耐ゆえに、実に豊かな報いを与えてくださったのです。

わたしは自分の人生において、苦難のときにも繁栄のときにも、主の手が伸べられるのを目にしてきました。次のようにはっきりと証します。「わたしは知る、わたしをあがなう者は生きておられる、後の日に彼は必ず地の上に立たれる。わたしの皮がこのように滅ぼされたのち、わたしは肉を離れて神を見るであろう。」<sup>10</sup>

ヨブは預言者ではありませんでしたが、ヨブの人生、証、そして試練のさなかの忍耐はわたしたちを鼓舞してくれま  
す。 ■

### 注

- 1. ジョセフ・B・ワースリン「決して屈してはならない」『聖徒の道』1988年1月号, 9
- 2. ヨブ 1:1 参照
- 3. ヨブ 1:2-3 参照
- 4. ヨブ 1:7-22 参照
- 5. ヨブ 2:7
- 6. ヨブ 22-27 章参照
- 7. ヨブ 42:7-9 参照
- 8. ヨブ 42:10
- 9. ヨブ 42:12-13 参照
- 10. ヨブ 19:25-26



## 将来をともに過ごすという約束

ジャロリン・バラード・スタウト

夫ががんであると診断されたときには、自分たちの世界が大きな音を立てて崩れていくように感じました。世話をしなければならぬ子供を8人抱えて、どのようにして独りでやっていけばよいのでしょうか。

**曇**った日曜日の朝のことでした。わたしは台所の流しに立ち、朝食の食器を洗い終えようとしていました。下の二人の子が台所の脇の居間で聖典のビデオを見ていました。わたしは考え込み、涙で頬をぬらしていました。家族を襲ったがんのことが頭から離れませんでした。夫は数年間、がんと闘ってきましたが、とうとう転移したのです。わたしの信仰が揺らいでいるように思えました。これから起きるかもしれないことへの不安で頭がいっぱいになりました。

突然、わたしの思考を遮るように聖書ビデオの声が聞こえてきました。次のような落ち着いた声が聞こえてきたのです。「静まれ、黙れ……」。

なぜ、そんなにこわがるのか。どうして信仰がないのか。」(マルコ4:39-40)

わたしは布巾を落とし、振り返ってビデオを見ました。救い主が嵐を静められた話のビデオでした。まるで救い主御自身がその言葉をわたしに向かって述べられたかのような感じでした。温かく安らかな思いに包まれました。がんを闘ってきた年月を通じて信仰についてたくさんを学ぶことができましたが、その信仰を固く守り続けなければならないことに気づかされました。祝福師の祝福文の言葉で支えられてき

た信仰です。

祝福師の祝福を受けたのは15歳のときでした。当時は単に神殿結婚のことを言っているように思われた一文が、今ではわたしにとって大きな約束の言葉となりました。そこにはわたしが結婚することになる義にかなった神権者のことが語られています。そしてこう述べられているのです。その人は「あなたが若いときだけでなく、晩年にわたり、あなたを助け、導き、あなたの力となるでしょう。」

がん闘病中、祝福文を読み返すときに、その一文が大きな希望を与えてくれました。読むたびに、将来をともに過ごすという約束を信じる信仰を新たにすることができました。夫が最初に診断を受けたときに御霊が与えてくれた大きな慰めを思い出しました。わた

しは祝福文のその箇所を暗記し、がんの検査結果が良くなかったときにはその約束を思い起こしました。

わたしは救い主に支えていただくこと、信仰を保つように努めなければならないこと、信仰をもって高まる不安と闘うことを学びました。あの朝見たビデオのおかげで、主に頼ることを思い出すことができました。

信仰を持つことにより、自分の重荷をイエス・キリストに負っていただくことができます。奴隷の状態にあったアルマの民が背負っていた荷を感じなかったように(モーサヤ24:14参照)、わたしたち家族もがんとの闘いを重荷だとは思っていません。その病がもたらし得る重荷を感じることなく、病に立ち向かうことができているのです。



### つらい経験を通して学ぶ

「困難は訪れるものであり、予期せぬ問題や避けられぬ問題も生じるものです。それらを免れる人は一人もいません。現世の目的は、学び成長して、御父のようになることです。そして、教訓には痛みが伴うかもしれませんが、わたしたちが最も学ぶのは、往々にして困難に直面しているときなのです。」

トーマス・S・モンソン大管長「神よ、また逢うまで」『リアホナ』2012年11月号、111





夫は依然としてがんの再発や転移の可能性を調べる検査を受けています。相変わらず医療費がかかり、治療の副作用が残っています。そして今もなお、わたしは夫のがんが進行しないように毎日祈っています。二人で長生きできるように祈っています。ただし、天の御父に「御心が行われますように」と申し上げています。

祝福文で述べられている「晩年」がいつ来るのかは分かりません。祝福文の言葉の意味は、夫とわたしが子育てを終えて伝道に出られる時、夫が孫たちを乗せた馬を引いたり、膝の上に座らせた孫たちと遊んだりする時が

来ることだと願っています。でも神がいつ夫をこの地上から取り去られるとしても、それが神の時であることを知っています。

「晩年」がいつなのか、わたしはもう心配していません。それは重要ではないのです。祝福師の祝福の中で与えられた約束を、主が守ってくださると信頼しています。主はこれまでわたしたちを見守ってくださいました。これからも見守ってくださいませう。■

著者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

---

**祝福師の祝福をまだ受けていない人は、祝福を受けることについてビショップまたは支部会長と話すときよいでしょう。祝福師の祝福を受けている人は、頻りに読み、祝福の言葉について深く考えているでしょうか。主の約束を信じる信仰を持っているでしょうか。**

## 息子がどこにいるか分かります

エルナンド・バスト

わたしたちは永遠の家族として、神を中心とした生活を送ることに常に重点を置いています。

コロンビアの我が家の戸口の上の方に二人の若い男性の顔が見えたとき、わたしたちは二人が戸口越しに中をのぞこうとして、何かの上に立っていると思いました。でも、そうではなく、ただ背がとても高かっただけでした。3歳の息子パブロ・エゼキエルは二人を見上げてびっくりしていました。数日後、二人は息子の親友になりました。

わたしたち家族、妻のルディー、娘のエリカとイェシカ、幼いエゼキエルは主を求めていました。福音の原則の幾つかは既に実践していました。食事の祈り、家族の祈り、家族の活動などです。家族は一致して生活していました。あの二人の長老をエゼキエルは「大きな天使」と呼びましたが、二人の訪れによって、家族を強め、神を中心に生活するというわたしたちの習慣が正しいものだ確認できました。

ファー長老とフィールズ長老は聖文を指針として用いながら、わたしたちに福音の道を教えてくれました。どこで礼拝したらよいか、わたしたちは主に尋ねていました。わたしたちが長年家族の話し合いの中で解決できなかった疑問の一つ一つに、モルモン書と回復された福音が答えを与えてくれました。まさに探し求めていた答えでした。間もなくわたしたちは教会員になりました。1年後、コロンビア・ボゴタ

神殿で聖約を交わし、永遠の家族として結び固められました。

わたしたちは福音の道に沿って子供たちを育ててきたことを知り、大きな喜びを感じました。わたしたちの生活と家庭に御霊が宿り、当時4歳だったエゼキエルが、決して忘れられない祈りをささげました。こう祈ったのです。「愛する天のお父様、このぼくという良い子に感謝します。アーメン。」わたしたちは皆、アーメンと言い、抱き合って笑いました。あの子はわたしたちの喜びの源でした。

その後数年間、わたしたちは定期的に神殿へ行くことを習慣にして、毎年2、3回行くことができました。家から神殿まで420キロありましたが、決して遠いとは思いませんでした。神殿へ行く準備はいつも楽しみでした。子供たちは家族歴史を優先し、死者のためのバプテスマをするのが大好きでした。いつも敬虔に準備をして、主の宮で天国のような経験をしました。

エゼキエルは精神的にも信仰においても成長していきました。最も大切にしていたのは母親でした。いつも母親を喜ばせることを言いました。ある日、こう言ってみんなを笑わせました。「ママのことは恐竜の骨よりもっと好きだよ。」息子は恐竜の骨を探すことが大好きだったからです。

わたしたちの大切な息子エゼキエル



は14年の生涯の間、家族を結びつける福音の中ですらにも過ごしました。いつもすぐに従順に行動し、家中に愛の光を輝かせました。姉たちと聖文の中の聖徒たちを手本にしていました。力と活気に満ちていました。セミナーのクラスを欠席することはありませんでした。家庭を明るくしてくれました。





人が教会に関心を向けるようになりました。わたしはいつも息子が伝道へ出ることを望んでいましたが、その日が来たのです。救いの計画のおかげで、わたしたちはエゼキエルがどこにいて、誰と一緒にいるかが分かります。

わたしたちは今でも家族と神を中心とした生活を送っています。神が生きておられ、わたしたちの人生の計画を持っておられると証<sup>あかし</sup>します。わたしたちは信仰を持ち続けなくてはなりません。愛する家族がいないために、わたしたちは神の計画を思い起こすことができます。

わたしたちにこの上なく深い慰めを与えてくれる言葉は、預言者ジョセフ・スミス<sup>1</sup>の言葉です。それが真実であることを心から認めます。「主は多くの人々を、幼児さえも取り去られますが、それは彼らが人のねたみやこの世の悲しみや悪事から逃れられるようにするためなのです。彼らは地上に住むにはあまりに純粹で、あまりに愛らしいのです。ですから、もし正しい考えを取るならば、わたしたちは悲しむよりも、喜ぶべきです。彼らは悪から救い出されているのであり、わたしたちはすぐに彼らと再会することになるからです。」(『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』176 - 177)

復活の朝にエゼキエルと再会するという希望は、わたしたちの心に勇気を与え、つらい日々を耐えるよう助けられます。■

筆者はコロンビア在住です。

わたしたちの人生への救い主の贖いと復活の効力についての靈感に満ちたビデオを視聴するには[lds.org/youth/video/because-of-him?lang=JPN](https://lds.org/youth/video/because-of-him?lang=JPN)にアクセスしてください。

せいさん  
聖餐のパスをするときには敬虔でした。エゼキエルが天の御父のもとへ召されたとき、家族の生活は変わりました。とうてい言葉で表せない寂しさを感じました。

珍しい感染症が息子をわたしたちから奪ったのです。息子を失い胸が張り裂けそうになりましたが、わたしたちは

再び息子に会えると確信しています。神殿の結び固めでなされた約束があるのです。息子がいなくなって、心にぽっかりと穴が開いたような気持ちになりましたが、息子は霊界で伝道するよう主から召されたのだと分かったら、心が満たされました。エゼキエルの葬儀は非常に特別なものでしたので、多くの

# 教会のニュース

教会のニュースおよび出来事についてもっとお知りになりたい方は [news.lds.org](http://news.lds.org) にアクセスしてください。

## 新しい地域指導者が割り当てられる

**大** 管長会は地域指導者の割り当ての変更を発表した。この割り当ては、2014年8月1日より有効になる。地域会長会を構成するのは、全て七十人第一定員会または七十人第二定員会の会員である。

七十人は、大管長会の指示の下で、啓示によって召され、十二使徒が世界中で教導の業を行うのを支援している。

「七十人の歴史は、実に旧約聖書の時代にさかのぼります」と十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長は述べている。<sup>1</sup> 最初に七十人について言及されているのは出エジプト記

第24章1節であり、その後、民数記第11章16-17節、25節で述べられている。そのとき、七十人はモーセを支えるために集められたのである。

キリストは地上で務めを果たしている間に七十人を召し、十二使徒と似た方法で七十人に指示を与え、彼らを「先に」遣わされた。彼らの声に聞き従う人々は主の声に聞き従うと説明しておられる(マタイ10:1, 16-17; ルカ10章参照)。

「わたしたちは、原始教会に存在したのと同じ組織を信じています。」パッカー会長はこう語っている。「そし

て、それには、七十人も含まれているのです。」(信仰箇条1:6参照) 急速に発展する今日の教会にあって、七十人は十二使徒を支えるうえで重要な役割を果たしている。パッカー会長はさらにこう言い添えている。「委任を受けた七十人は、十二使徒が行うように告げることであれば何でも行うことができます。」<sup>2</sup> ■

### 注

1. ボイド・K・パッカー “The Twelve and the Seventy, Part One: Revelation and the Role of the Seventy” (ビデオ), LDS.org
2. ボイド・K・パッカー “The Twelve and the Seventy”

### 七十人会長会



ロナルド・A・ラズバンド  
全地域を支援



L・ホイットニー・クレートン  
ユタ北地域  
ユタ・ソルトレーク・シティー地域  
ユタ南地域



ドナルド・L・ホールストロム  
北アメリカ北東地域



リチャード・J・メインズ  
北アメリカ北西地域  
北アメリカ西地域



クレイグ・C・クリステンセン  
アイダホ地域  
北アメリカ中央地域



ウリセス・ソアレス  
北アメリカ南東地域



リン・G・ロビンズ  
北アメリカ南西地域

### アフリカ南東地域



スタンレー・G・エリス  
第一顧問



カール・B・クック  
会長



ケビン・S・ハミルトン  
第二顧問

### アフリカ西地域



テレンス・M・ピンソン  
第一顧問



リグランド・R・カーティス・ジュニア  
会長



エドワード・デュベ  
第二顧問

### アジア地域



ランディー・D・ファンク  
第一顧問



ジェリット・W・ゴング  
会長



黄(サム)志康  
第二顧問



アジア北地域



青柳 弘一  
第一顧問



マイケル・T・  
リングウッド  
会 長



スコット・D・  
ホワイティング  
第二顧問

ブラジル地域



ジャイロ・  
マサガルディ  
第一顧問



クラウディオ・  
R・M・コスタ  
会 長



マルコス・A・  
アイドカイトイス  
第二顧問

カリブ海地域



クラウディオ・D・  
シビック  
第一顧問



J・デビン・  
コーニッシュ  
会 長



ヒューゴ・E・  
マルチネス  
第二顧問

中央アメリカ地域



アドリアン・  
オチョア  
第一顧問



ケビン・R・  
ダンカン  
会 長



ホセ・L・  
アロンソ  
第二顧問

ヨーロッパ地域



パトリック・  
キアロン  
第一顧問



ジョセ・A・  
ティシエラ  
会 長



ティモシー・J・  
ダイクス  
第二顧問

ヨーロッパ東地域



ランドール・K・  
ベネット  
第一顧問



ブルース・D・  
ポーター  
会 長



ヨーク・  
クレビンガット  
第二顧問

メキシコ地域



ポール・B・  
パイパー  
第一顧問



ベンハミン・  
デ・オヨス  
会 長



アルヌルフオ・  
バレンスエラ  
第二顧問

中東／アフリカ北地域



ブルース・A・  
カールソン  
第一顧問



ラリー・S・  
ケーチャー  
第二顧問

教会本部が管理

太平洋地域



O・ビンセント・  
ハレック  
第一顧問



ケビン・W・  
ピアソン  
会 長



S・ギフォード・  
ニールセン  
第二顧問

フィリピン地域



シェーン・M・  
ボーエン  
第一顧問



イアン・S・  
アルデルン  
会 長



ラリー・J・  
エコー・ホーク  
第二顧問

南アメリカ北西地域



W・クリストファー・  
ワデル  
第一顧問



フアン・A・  
ウセダ  
会 長



C・スコット・  
グロー  
第二顧問

南アメリカ南地域



ホルヘ・F・  
ゼバヨス  
第一顧問



ウォルター・F・  
ゴンサレス  
会 長



フランシスコ・J・  
ビニャス  
第二顧問



七十人  
チェ ユンフワン  
崔 煥長老

# 強く、 また 雄々しくあれ

**警言** 護隊員の一人が大声で言いました。「大統領警護隊長が盛大なパーティーをやると発表した。我々が首尾よく任務を遂行したからだ。」

わたしは喜ぶべきでしたが、その知らせを聞くやいなや、祈り始めました。祝賀会ではお酒が出ることを知っていました。わたしはお酒を飲まないだけの霊的な強さにはありましたが、わたしのせいで仲間の隊員たちに迷惑をかけたくなかったのです。

韓国では若者は兵役義務があります。そこで、わたしは専任宣教師の務めを終えるとすぐに軍隊へ入り、大統領警護隊に配属されました。仲間の隊員たちは、わたしが末日聖徒イエス・キリスト教会の会員であるため、お酒を飲まないことを知っていました。パーティーの発表を聞いた隊員たちは不安になりました。なぜなら、パーティーで隊長がお酒を飲むように命じたときに、もしわたしが飲まなければ、隊員たちに迷惑をかけることになるからです。

祝賀会では隊長が各隊員の前に立ち、一度に一人ずつ、隊員のグラスにお酒をつぐのがしきたりでした。隊員はグラスを持ち上げ、「ありがとうございます」と言って、すぐに飲み干すのです。

軍隊では、上官の命令に従わないことは不服従であり、従わなかった本人だけでなく、部隊全員にとって大きな問題となり得るのです。最悪の場合には、不従順の罪で刑務所へ送られることさえあります。そのために、わたしの仲間の隊員たちは不安になったのです。

パーティーの当日、10名の隊員がテーブルに着きました。各人の前に空のグラスが置かれ、わたしは3番目の席にいました。隊長が入って来て、最初のグラスにお酒をつぎました。隊員はグラスを持ち上げ、「ありがとうございます」と言って、飲み干しました。

隊長は2番目の隊員へ向かい、同じことをしました。次はわたしの番です。わたしは知恵の言葉を守る覚悟ができていましたが、仲間の隊員たちのために心の中で祈り続





イラスト/マイケル・S・パーカー

けていました。隊長がわたしのグラスにお酒をつぐと、わたしは大きな声で「ありがとうございます」と言いました。そして、申し訳ありませんが飲めませんと言おうとしていました。

ちょうどそのとき、秘書官が来て言いました。「お電話です。」隊長は彼に向かって言いました。「今は忙しい。」

わたしがまだグラスを持ったままの姿勢でいると、秘書官が「大統領からです」と言いました。隊長は「おお、そうか」と答えて、すぐに部屋を出て行きました。

突然、2番目の隊員が自分の空のグラスとわたしのグラスを交換して、お酒を飲み干しました。間もなくして隊長が戻って来ると、わたしの空のグラスを見て言いました。「もう飲んだか。」そして、4番目の隊員へ移りました。誰もがほっとして大きく息をつきました。

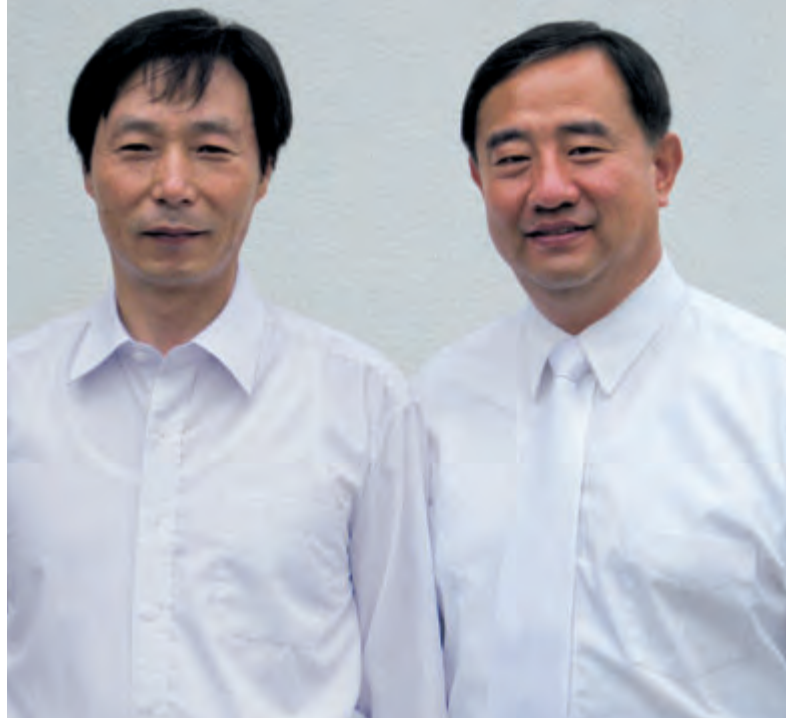
それから35年後、兵役を終えてからだいぶ時がたちました。韓国の教会の支部会長から電話があり、同じ部隊にいたパク氏を覚えているかと聞かれました。

「もちろんです」とわたしは答えました。わたしはパク氏とともに働いていました。彼はわたしの信仰に敬意を抱き、困難な状況のときに、よくわたしを守ってくれたのです。

支部会長からパク氏の電話番号を教えてもらい、すぐ電話をかけました。話をしていると、パク氏はこう言いました。大統領警護隊と一緒に働いていたとき、わたしから光が出ているのを見て、わたしを助けなければならないと思ったと言うのです。後に、つらいことがあるといつも、わたしのことを考えたそうです。

パク氏は二人の息子がわたしのようになってほしいと語りました。息子たちを末日聖徒の礼拝堂へ連れて行ったのです。自分はバプテスマを受けていませんでしたが、息子の一人がバプテスマを受けました。ところが、その息子が今はあまり活発ではないのです。パク氏はわたしの助けと助言を求めました。

1週間後、わたしはパク氏に会いに行きました。良い時間を過ごし、間もなく彼の息子に会うようになり、教会へ戻るように励ますことができました。彼の息子はわたしの助言を謙虚に受け入れ、活発になり、専任宣教師になりました。伝道中に家へ送った手紙の中で父親を力づけ、バプテスマを受ける準備をするよう助けました。わたしが初めて訪問してから1年後のある夏の日、わたしはパク氏に、教会員になる



**パク氏はわたしと一緒に兵役に就いていたとき、わたしが信仰を働かせるのを目にしました。それから35年後、わたしからバプテスマを受けて教会員になりました。**

ようバプテスマを受けました。

何と大きな奇跡でしょう。35年前にある若者が働かせた信仰のゆえに、家族の生活が変わったのです。

## わなと網を避ける

旧約聖書の中でヨシュアは、邪悪な世の中で生活している間に出遭うわなと網についてイスラエルの民に教えました。

「あなたがたは、しかと知らなければならない。あなたがたの神、主は、もはや、これらの国民をあなたがたの前から、追い払うことをされないのであろう。彼らは、かえって、あなたがたのわなとなり、網となり、あなたがたのわきに、むちとなり、あなたがたの目に、とげとなって、あなたがたはついに、あなたがたの神、主が賜ったこの良い地から、滅びうせるであろう。」(ヨシュア 23:13)

わたしにとって、仲間の隊員たちにかけたかもしれない迷惑を予想することは、お酒を飲むように誘惑するためのわなでした。しかし、わたしは正しい選択をしました。そして、どのような結果になろうとも知恵の言葉を守る覚悟を決めたのです。

わたしが軍隊での経験から学んだことは、もしわたしたちが「強く、また雄々しく」あるなら(ヨシュア 1:6)、主は主の子供たちを祝福し、守ってくださるということです。例えば、イスラエルの民がヨルダン川を渡るとき、主は民をお守りになりました。ただし、まず契約の箱を運ぶ祭司が信仰と勇気を示し、あふれる川の水の中へ足を踏み入れました。まさにそのとき、主は「水〔を〕全くせきとめ」、川を「うず高く



立〔たせ〕られたのです(ヨシュア3:13-17参照)。

「強く、また雄々しく」あるためには、「主につき従〔う〕」必要があります(ヨシュア1:6;23:8)。主につき従うというのは、個人と家族の聖文研究と祈り、家庭の夕べをすること、また聖餐にあずかり、召しを尊んで大いなるものとし、神殿で度々礼拝し、戒めに従い、間違いをした際に悔い改めるということです。このようなことを実行するときに、聖霊がとどまり、わたしたちがわなと綱に気づき、それらを避けるよう助けていただけるのです。

トーマス・S・モンソン大管長はこう述べています。「幼いころから、わたしたちを保護する責任を持つ人たちは、わたしたちの安全を確保するために指針や規則を教えます。そのような規則に完全に従えば、人生はより簡潔なものとなるでしょう。……

従順は預言者の特質です。全ての時代を通じて、預言者は従順を通して強さと知識を得てきました。この強さと知識の源をわたしたちも受けられることを理解するのは非常に重要です。それは、神の戒めに従うことにより、今の時代のわたしたちもすぐに受けられるものなのです。』<sup>1</sup>

### 信仰をもって前に進む

十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長は中央幹部に召されて間もなく、ハロルド・B・リー長老(1899-1973年)のもとへ助言を受けに行きました。パッカー会長はこう回想しています。

「リー長老は非常に熱心にわたしの問題に耳を傾け、デビッド・O・マッケイ大管長[1873-1970年]に会うように提案してくれました。マッケイ大管長はわたしが進むべき方向について勧告してくれました。わたしは心から従いたいと思いましたが、その勧告どおりに行う方法がどうしても分かりませんでした。

わたしはまたリー長老のもとへ行き、大管長から勧告された目指すべき方向に進むには、どうしたらよいか分からないと話しました。するとリー長老は、『問題は、あなたが初めから終わりまで、全てを分かりたいと考えていること』と言いました。わたしは、せめて1歩か2歩先を見たいのだと答えました。すると、わたしの生涯の教訓となる言葉が与えられました。『あなたは光が照らしている場所の端まで歩いて行き、そこから先は、闇の中へ2、3歩足を踏み入れ



### 原則を守る勇氣

「わたしたちは皆、恐れを感じ、あざけられ、反対に遭うことがあるでしょう。わたしたち皆が世間に迎合しない勇氣、原則を守る勇氣を持ちましょう。妥協せずに勇氣を示す人に、神はほほえんでくださいます。勇氣とは、雄々しく命を差し出すことだけではなく、確固として高潔に生きることでもあると理解されるとき、勇氣は力強い、魅力ある徳となるのです。」

「強く、また雄々しくあれ」『リアホナ』2014年5月号, 69

るようにしなければなりません。そうすれば、光が見えてきて、さらに先の道を示してくれます。』<sup>2</sup>

天の御父の子供としてわたしたちは時折、信仰をもって受け入れなければならない事柄や成し遂げるべき事柄を、細部にわたって理解したいと思うことがあります。しかし、全てを理解する必要はないのです。主から言われているように、またイスラエルの祭司が、あふれるヨルダン川の中へ入ったように、ただ前に進みさえすればよいのです。全てを理解できなくても、もし「強く、また雄々しく」あるなら、乾いた地を歩けるように主がわたしたちを助けてくださるので

す。  
わたしたちは聖文や主の僕を通して主の導きを求め、それに従いながら、主の言葉に従って生活するとき、堅固に立つ力を得るでしょう。確かに、わたしたちは「敵の領域」<sup>3</sup>で生活しているのです。しかし、わたしたちを助け、救うために遣わされた主、わたしたちの救い主を敵が征服することはできません。

わたしたちは「神の教義の上に従順に堅く立〔つ〕」<sup>4</sup>ことにより、イエス・キリストの真の弟子になれると知っています。そうするように勇氣を奮い起こすときに、どこにいても、聖なる場所に立つのです。■

### 注

- 1 トーマス・S・モンソン「従順は祝福をもたらす」『リアホナ』2013年5月号, 89, 90参照
- 2 ボイド・K・パッカー, "The Edge of the Light," *BYU Today*, 1991年3月号, 22-23. 『旧約聖書 福音の教義クラス教師用引き』69も参照
- 3 ボイド・K・パッカー「若人への助言」『リアホナ』2011年11月号, 16
- 4 ロバート・D・ヘイルズ「聖なる場所に堅く立ちなさい」『リアホナ』2013年5月号, 51



# トンガ

## 神に 奉獻された地

ハーバリー・K・セコナ  
トンガ、リアホナ中学校校長

**末**日聖徒イエス・キリスト教会がアメリカ合衆国ニューヨーク州で組織されてから10年もたない頃、広大な太平洋の数千キロかなたにある島の王国が、キリスト教に転じました。1839年、トンガの国王ジョージ・トゥポウ1世は、自分の国と自分の民、また自分の子孫を神の守りに託したのです。その王の声明「神とトンガはわたしの遺産」が、トンガの標語となりました。これが受け継がれて、トンガでは宗教が大きな役割を果たしています。現在もお、全てのトンガ人が安息日を礼拝の日として守っています。

### 最初の宣教師

サモア伝道部で奉仕していたブリガム・スムート長老とアルバ・バトラー長老は、トンガの島々に回復された福音を伝える割り当てを与えられました。彼らは1891年に到着すると、国王ジョージ・トゥポウ1世に謁見し、イエス・キリストの福音を宣べ伝える許可を国王から与えられました。見通しが明るいことから、さらに多くの宣教師が島々に召され、福音を広める業に熱心に携わりました。しかし残念ながら、トンガでは、タヒチやハワイ、ニュージーランド、サモアなど、他のポリネシアの島々におけるほど教会の発展は順調ではありませんでした。1897年に、宣教師はサモアへ帰るように命じられ、しばらくの間、トンガの少数の改宗者は教会の指導者がいないまま





1891年に、ブリガム・スムート長老とアルバ・バトラー長老がトンガの国王ジョージ・トゥポウ1世に謁見し、民の間で福音を宣べ伝える許可を与えられた。

しても、教会は発展し続けました。

### キリスト教文明を築く

福音が島々の間に広まると、様々な教会の学校が設けられました。1947年に、教会は広大な土地を借り受け、新しい学校、リアホナ単科大学を建て始めました。それが現在のリアホナ高等学校です。

1953年に十二使徒定員会のリグランド・リチャーズ長老(1886-1983年)によって奉獻されたその学校は、入学する全ての人にとって「導きの光」となるものでした。また、指導者となり、他の人々に良い影響を与えるように、若人を備えるものでした。その奉獻には、女王サローテ・トゥポウ3世も出席し、全ての社会層の人々を一つに結ぶ「キリスト教文明」を

▶ 1839年——  
国王ジョージ・  
トゥポウ1世が  
トンガを  
キリスト教に  
委ねる。



1891年——  
末日聖徒の宣教師が  
初めてトンガに  
派遣される。

1892年——  
最初の改宗者  
アリパテが  
バプテスマと  
確認を受ける。

1897年——  
伝道部が閉鎖され、  
宣教師はサモアに  
戻る。



◀ 1907年——  
伝道活動が再開  
される。教会は  
ネイアフに学校を  
開設する。

残されました。

### 覚えられていた民

「あなたがたは、……主であり、あなたがたの神であるわたしが……海の島々にいる者たちを覚えていることを知らないのか。」(2ニーファイ29:7)

主はトンガの島の王国にいる聖徒たちをお忘れになりませんでした。1907年に、ヒーバー・J・マッケイ長老とW・O・フェイサー長老が、ババウ島ネイアフに到着し、そこで一つの支部と小さな学校を始めました。間もなく、伝道活動が成功し始め、その後数年にわたって島々に幾つかの支部と複数の教会の学校が設けられました。

世界の他の場所と同様、トンガの教会も反対に遭いましたが、今回は福音がここに根付きました。伝道活動が盛んになると、地元のトンガの会員の中から教会指導者たちが召されました。そのため、第二次世界大戦中に外国人が国外に退去

築く手段としてその学校を推奨しました。学校の設立以来、リアホナ高等学校の卒業生の中から数千人が、宣教師、教会指導者、また地域社会の傑出した指導者として奉仕してきました。

現在、トンガには教会が後援する高等学校は2校あります。本島のトンガタブ島にあるリアホナ高等学校と、ババウ島にあるサイネハ高等学校です。また教会が後援する中学校も5校あります。トンガタブ島に3校、エウア島に1校、ハアパイ島に1校です。

### 預言の成就

「デビッド・O・マッケイ大管長(1873-1970年)と妻のエマ・レイ姉妹が1955年にトンガを訪れたとき、聖徒たちは二人を王族のようにもてなしました。教会の大管長が島を訪れたのはこれが初めてでした。トンガタブ島とババウ島への短期の訪問中、二人は会員たちと集会を開きました。そして、トンガの

人々が音楽を演奏し、踊り、話し、食事のもてなしをする中で、二人は彼らの愛と信仰心を感じたのです。マッケイ大管長はババウ島の聖徒を訪問したとき、「教会の会員たちが神の神殿に行くと祝福を受けることができる、これらの島々の一つにある神殿」の示現を見たことを告げるように靈感されました。一人の会員がトンガの人々の反応をこう記録しています。「全会衆がわっと泣き出しました。」<sup>1</sup>

およそ30年後の1983年8月に、トンガ・ヌクアロファ神殿が、当時大管長会の顧問であったゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910-2008年）により奉獻されました。当時10代の少女であったわたしは、この幸せな出来事のために他の島々の末日聖徒や海外のトンガ人がどのようにしてやって来たかを今でも覚えています。わたしは奉獻式の一つの部会に出席し、聖歌

奉獻の前日、11月3日に開催されることになっていました。

わたしたちの目的は、トンガタブ島のステーキからできるだけ大勢の青少年に参加してもらおうこと、そして翌日の神殿の奉獻に聖徒を霊的に備えるためのプレゼンテーションを考え出すことでした。その行事は、他の島々にも、また全世界のトンガ人ステーキにもテレビ中継されるので、大変な作業でした。

その制作の主題は「永続する宝」でした。それは、トンガ、ハワイ、タヒチ、ニュージーランド、フィジー、サモアの文化の踊りで構成されていました。物語のあらすじは、幼い子供を失った夫婦が喪失感を和らげる宝をポリネシアの島々で探し求めるというものでした。二人はそれぞれの島ですばらしいものを発見しますが、どれ一つとして彼らの苦痛を和らげる

1916年——  
トンガ伝道部が  
組織される。

1922年——  
排斥法により、  
外国人の宣教師が  
トンガに入国する  
ことを禁じられる。



◀ 1924年——  
地元の会員と伝道部の  
M・バーノン・ケームズ  
会長の努力により、  
排斥法が撤回される。

1926年——  
教会は「起きて目を  
覚ます」という  
意味の「マケテ」と  
呼ばれる学校を  
開校する。



◀ 1946年——  
モルモン書が  
トンガ語で  
出版される。

隊の一員を務める特権を与えられました。ヒンクレー大管長が話すのを聞いたときに感じた温かい気持ちを覚えています。そのときに、大管長が神から召されていることを知りました。わたしたちが「ホサナ賛歌」を歌ったとき、わたしは主が御自分の子供たちをどれほど深く愛しておられるかについても理解しました。

救い主は海の島々の民をいつも覚えておられました。そして、その日に、マッケイ大管長の預言が成就したのです。

### 主の宮の再奉獻

トンガで教会が発展してきたことにより、神殿は改築のために約2年間閉館されました。他の作業とともに、幾つかの部屋が拡張され、結び固めの部屋が一つ追加され、またポリネシアのモチーフが壁と天井につけ足されました。

2007年初頭に、夫とわたしは、神殿の再奉獻のための文化の祭典の企画・運営に携わるよう召されました。その行事は再



1965年、若い使徒として、トンガを訪問したトーマス・S・モンソン大管長（中央）、ならびにパトリック・ダルトン伝道部会長とリーラ夫人。





ものではありません。二人はトンガに戻ると、宣教師から福音を紹介され、「永続する宝」について知ります。その宝とは、永遠の家族であり、他界した子供といつか再会できるという祝福でした。

再奉獻式の週は大雨が続きました。最後のリハーサルが行われた11月2日に、空は雲で覆われていました。わたしは青少年に、家に帰り、良い天気になってトンガのため、また通信衛星経由で見える人々、特に預言者のためにプレゼンテーションを行うことができるよう祈ってほしいと伝えました。その夜はひどく雨が降り、翌朝も

たちに、永遠の家族が永続する宝であり、そのような祝福をもたらすために神殿が建てられていることを思い出してもらうことができました。

### 主に奉獻された民

現在も教会はトンガで発展し続けており、地元会員が指導者の職に就いています。礼拝堂が島々に点在しており、宣教師の増加により御業が速められています。教会の学校はしっかり確立されており、勇敢な宣教師、将来の指導者、またふさわしい母親と父親を備え続けています。

聖徒はもう総大会のために本島まで小舟で

▶ 1953年——  
リグランド・リチャーズ長老がリアホナ高等学校を奉獻する。これはトンガで最大かつ最も成功した学校の一つとなる。



◀ 1955年——  
デビッド・O・マッケイ大管長がトンガを訪れる。



1960年——  
教義と聖約と高価な真珠がトンガ語に翻訳される。

1968年——  
トンガで最初のステーキ、ヌクアロファステーキが設立される。



まだ天気は良くありませんでした。

土曜日の夕方、3,000人の若人が、十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老から話を聞くために、テウファイバスタジアムに集まりました。ヒンクレー大管長の健康状態が優れず、ネルソン長老が神殿を再奉獻するために派遣されたのです。わたしはその日の公演を決して忘れません。全てがうまくいきました。天候は申し分なく、前に不調であった音響システムの動作はすばらしく、若い男性たちと若い女性たちは思う存分に踊りました。

わたしたちは奇跡を目にしました。天の御父が御自分の子供たちの祈りを聞き届けて、雨を遠ざけてくださったのです。同時に、わたしたちは翌日の神殿奉獻のための雰囲気を作り、会員



1月のトンガ北部の島々へのサイクロンの襲来後、トンガタブ島からハアバイ島に送られてきた救援物資を運ぶ手伝いをする宣教師たち。



トンガにおける会員数の推移\*

1897年	15人	1917年	517人	1930年	1,185人	1950年	2,975人	1970年	15,842人	1990年	35,227人	2000年	46,623人	2013年	61,470人
神殿数——1 ステーク数——19 地方部数——2 伝道部数——1															



\* 2014年1月現在

長旅をする必要はありません。テクノロジーによって、会員たちは自分のステークにいながらにして、総大会や、ニュージーランドから放送される地域大会を視聴することができるのです。

トンガの海岸に上陸する様々な変化の中で、聖徒たちは信仰の遺産を継承しています。彼らは175年前に神に委ねられた民です。また今日も、人生と、自分が持っている全てを主にささげ続けている民なのです。■

注

1.R・ラニアー・ブリッチュ, *Unto the Islands of the Sea: A History of the Latter-day Saints in the Pacific* (1986年), 472Time line



◀ 1976年——  
 スペンサー・W・キンボール大管長がトンガを訪れ、ヌクアロファで開かれた地域大会で1万600人の会員に向けて話をする。

▶ 1983年——  
 ヌクアロファ神殿が奉献される。



1991年——  
 3,000人の末日聖徒の青少年が、教会100年祭で、タウファアハウ・トゥボウ4世のために催し物を行う。

1997年——  
 ゴードン・B・ヒンクレー大管長がヌクアロファを訪れ、およそ1万1,400人の人々に話をし、王に謁見する。

2007年——  
 ヌクアロファ神殿が再奉献される。

先祖の信仰

モルモン最初の宣教師が到着して以来、トンガでは主の業において多くの偉大な奇跡が起こってきました。2010年6月13日にも、そのような奇跡が一つ起こりました。フリバイ卿とその家族がバプテスマを受けたのです。フリバイ卿は王族で教会に加入した最初の人です。彼は、1907年にトンガに戻って来るように末日聖徒の宣教師に求めたババウ島の貴族、イキ・フリバイの玄孫です。

フリバイ卿は、妻のヘレン夫人、ならびに年長の二人の子供と一緒にバプテスマを受けました。末の子はまだ8歳になっていませんでした。神殿会長、伝道部会長、またステーク会長たちが、著名な政府指導者たち、その他の貴族や家族と一緒にこの歴史的な会に出席しました。

1年後の2011年6月16日、フリバイ家族は、トンガ・ヌクアロファ神殿でこの世においても永遠にわたっても結び固められました。

わたしは最近、フリバイ家族と話をした特権にあずかりました。フリバイ夫人は、教会に加入したことによる最大の祝福を挙げるよう求められたとき、何のためらいもなく、家族にもたらされる永遠の祝福であると答えました。フリバイ卿は、福音が生涯の質問に対する答えを与えてくれたと述べました。福音は子孫が神の最も大なる祝福にあずかれるようにする入り口であると、彼は信じています。





# なぜ福音を 分かち合うのか

末日聖徒として、わたしたち一人一人は伝道の目的を持っています。  
すなわち、キリストのもとに来るように人々を招きます。

『わたしの福音を宣べ伝えなさい』の第1章では、末日聖徒イエス・キリスト教会の全ての会員に当てはまる質問が投げかけられています。「宣教師としてのわたしの目的は何でしょうか。」

その答えは次のように要約されています。「あなたの目的は、人々にキリストのもとへ来るよう勧めることです。そのためにあなたは、イエス・キリストとキリストの贖いあがなを信じる信仰、悔い改め、バプテスマ、聖霊の賜物たまものを受け入れること、最後まで堪え忍ぶことを通して、彼らが回復された福音を受け入れられるよう助けるのです。」<sup>1</sup>

## 会員は宣教師である

わたしたちは皆、宣教師であるように求められています。そして、効果的にイエス・キリストの福音を分かち合うために、わたしたちはこの目的を心に留め、自分の心にそれを感じ、心の中にそれを受け入れ、それに基づいて行動しなければなりません。わたしたちがこれらを行うとき、それは福音を分かち合う際にわたしたちを鼓舞し、導きます。わたしたちは、一方の、福音を分かち合う目的と、他方の、その目的を達成する手段との違いをはっきりと区別しておかなければなりません。

単に福音についての話し合いに参加することや、可能な全ての人に教会について話すこと、あるいは目標を設定し、計画を立てることが、わたしたちの目的ではありません。これらのことは重要ですが、これらは目的を達成するための手段であって、その目的とはキリストのもとに人々を導くことなのです。

## 伝道の目的に集中する

伝道の目的に集中して福音を分かち合う努力をするときに何が起るのか、その例を幾つか考えてみてください。





## 分かち合う備えをする

「皆さんの模範的な生活は、友人や隣人の関心を引くことでしよう。皆さんが現在のような生き方をしている理由を尋ねる人に答えられるように用意をしてください。皆さんの内にある希望と喜びについて説明できる用意をしてください〔1ペテロ3:15参照〕。そのような質問をされると、次のように言うといいでしょう。『宣教師に尋ねてみましょう。きっと教えてくれます。』」

十二使徒定員会 ラッセル・M・ネルソン長老「波に乗る」『リアホナ』2013年5月号、45

1. わたしたちは、福音について、また悔い改める理由と方法について人々が正しく理解するのに助けとなる方法で教えます。また、求道者の思いと心の中にある事柄に耳を傾け、それに対応します。
2. わたしたちは話をするとき、<sup>みたま</sup>御霊を感じている人々を見分けるために、聖霊を求め、聖霊に耳を傾けます。
3. 家族やワード評議会で、また専任宣教師とともに計画を立てることは、改心とバプテスマをもたらすのに必要な事柄を実際に明確にし、心に留め、またそれぞれの求道者のためにそれらを成し遂げる一つの手段となります。
4. わたしたちは神の言葉を味わう機会を喜びます。わたしたちの研究には目的があるからです。自分自身の質問だけでなく、求道者が心に抱く質問に対する答えを調べます。
5. わたしたちは教会の集會に出席するように人々を招きます。なぜなら、それがわたしたちのなすべきことであると信じているからだけではなく、教会に参加することが、バプテスマに対する求道者の望みをもっと強くし、福音の聖約の中で最後まで堪え忍ぶための土台を築くのに不可欠でもあるからです。その最終的な目的を心に留めておくと、教会に出席するように勧めることはもっと緊急性の高いものとなります。安息日に礼拝することの重要性についての説明や、末日聖徒の日曜日の集會に期待する事柄が変わってきます。そして、わたしたちの言葉を証する御<sup>あかし</sup>霊<sup>み</sup>には、他では見られない説得力があるのです。

## 深く心に留め、理解する

どうぞ『わたしの福音を宣べ伝えなさい』の第1章と「宣教師としてのわたしの目的は何で

しょうか」という質問を、なおざりにしないでください。回復された福音の原則と儀式を通じてキリストのもとに人々を導く目的を深く心に留めてください。そうすれば、福音を分かち合うことは単なるプログラムではないということが分かるようになるでしょう。それは大義、すなわち、御父と御子と聖なる御霊の大義なのです。キリストのもとに来るように人々を招く目的を深く心に留めてください。そうすれば、世の人々には末日聖徒イエス・キリスト教会による他に贖いの恵みと救いにあずかる手立てがないということを、皆さんは理解するようになるでしょう。福音を分かち合うとは一体どういうことであるかが分かるでしょう。また、立ち上がって御父の業に携わるようになることでしよう。モーサヤの息子たちのように、専任宣教師は「神の力と権能をもって」教えるということが分かります（アルマ17:3）。そして、皆さんが既に「きてごらんなさい」と招いた人々に福音を教えるように、宣教師に依頼するようになることでしよう（ヨハネ1:39）。

## わたしたちの招き—キリストのもとに来るように

わたしにとって、伝道の目的は、神の業と栄光の荘厳さを表しています（モーセ1:39参照）。神の子供たちを贖い主、すなわち主イエス・キリストの恵みを通じて究極的な救いに導くこと以上に崇高な働きがあるでしょうか。わたしたちの伝道の目的は、他の人々に警告するだけでなく彼らを救うこと、教えるだけでなくバプテスマを施すこと、キリストのもとに人々を導くだけでなく彼らが最後まで確固としてキリストに従うようにすることであるということ、覚えておいてください。

わたしたちはキリストのもとに来るように世の人々を招きます。「キリストのもとに来る」とは、救いの計画を短い言葉で言い換えたものです。それは、キリストの贖罪と復活<sup>しよくざい</sup>の実を得ること、究極的には永遠の命を得ることを意味

します。永遠の家族は自分の道徳的な選択の自由の行使に懸かっていますが、イエス・キリストの恵みによってのみそれは可能なのです。キリストのもとに来るとは、その恵み、すなわち、イエス・キリストの無限の贖いの犠牲がもたらす赦し、聖め、変え、贖う力を手に入れるために必要な事柄を行うことです。

この良い知らせ、すなわち福音は、モルモン書の中でイエス御自身により最も分かりやすく述べられています。

「見よ、わたしはあなたがたに、わたしの福音について告げた。わたしがあなたがたに告げた福音とは、次のとおりである。すなわち、父がわたしを遣わされたので、わたしは父の御心みこころを行うために世に来た。

父は、わたしが十字架に上げられるようにと、わたしを遣わされた。十字架に上げられた後で、わたしは全ての人をわたしのもとに引き寄せた。わたしは人々によって上げられたが、そのように人々は、父によって上げられてわたしの前に立ち、自分の行いが善いか悪いかによって、行いを裁かれるのである。

このために、わたしは上げられたのである。それで、父の力によってすべての人をわたしのもとに引き寄せ、彼らが各々の行いに応じて裁かれるようにするのである。」(3ニーファイ27:13-15)

### 喜びのおとずれと良い知らせ

したがって、基本的に、福音すなわち良い知らせとは、わたしたちには天の御父がおられ、御父はわたしたちへの愛のゆえに、罪と死からわたしたちを贖うために独り子を送ってくださったということです。御子は御父に完全に従い、その目的のために御自分の命をささげ、御父に栄光をもたらしておられます。御子は御自分の血によってわたしたちを買い取られました。そして、わたしたちは自分の生涯について御子に責任を負うのです(1コリント6:19-20参照)。御子は今やわたしたちの裁き主であり、正義の象徴であられます。

さらに、福音の喜びのおとずれのメッセージは、イエスは贖いの犠牲のゆえに憐れみの象徴であられるとも告げています。イエスの憐れみ、功德、恵みは、わたしたちを赦し、清めるのに十分であって、裁きの日にわたしたちはイエスの前に聖く、染みのない状態で立つことができます(2ニーファイ2:8;モロナイ10:32-33参照)。

『わたしの福音を宣べ伝えなさい』にある伝道の目的は、それが実現するために行われなければならない事柄について



説明しています。そこに述べられているように、赦しを受け、清められるためには、「イエス・キリストとキリストの贖いを信じる信仰、悔い改め、バプテスマ、聖霊の賜物を受けること、最後まで堪え忍ぶこと」が必要です。<sup>2</sup>

さらに、第三ニーファイ第27章の中で、救い主は御自分の福音を構成するものについて最後に次のように述べておられます。

「さて、悔い改めて、わたしの名によってバプテスマを受ける者はだれであろうと、満たされるであろう。そして、最後まで堪え忍ぶならば、見よ、わたしはその者を、わたしが立って世の人々を裁くその日に、わたしの父の御前みまへで罪のない者としてしよう。……

清くない者は、決して父の王国に入ることができない。したがって、信仰を持ち、罪を全て悔い改め、最後まで忠実であることによって、わたしの血により衣を洗われた者のほかには、父の安息に入る者はいない。

さて、戒めは次のとおりである。地の果てに至るすべての者よ、悔い改めて、わたしのもとに来て、わたしの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊を受けて聖められ、終わりの日にわたしの前に染みのない状態で立てるであろう。

まことに、まことに、あなたがたに言う。以上がわたしの福音である。」(3ニーファイ27:16, 19-21)

## 信仰と決意

わたしたちが御霊によって福音の証を述べるとき、進んで聞く人々は、十分な証を得て、イエス・キリストとイエス・キリストの贖罪を信じる信仰を持つようになるでしょう。その信仰は悔い改める気持ちを彼らに与えます。会員と専任宣教師も、御霊によって人々に、彼らは何を変える必要があるかを教え、またそれを行うように勧め、決意させることができます。受け入れて実行するように求道者に勧めるべき究極の決意は、水によるバプテスマです。このバプテスマの後に聖霊の授与があります。もっと正確に言えば、バプテスマは聖霊の授与で完了します。聖霊は罪の赦しと聖めをもたらします(2ニーファイ31:17参照)。

主の前に義と認められ、染みがなく立つこの状態は、人が信仰によって生活し、必要に応じて悔い改め、バプテスマの約束をしっかりと守り続けるならば、生涯にわたって保ち続けることができるのです。わたしたちはそれを最後まで堪え忍ぶことと呼びます。最後まで堪え忍ぶ人々は、自分の行いに応じた裁きを受けることを恐れません。なぜなら、その行いは、信仰と悔い改め、水と御霊のバプテスマを伴う行いだからです。

## 救いの業に参加する

**個**人としてどのように、改宗、定着、活発化を手伝うことができるか、[lds.org/training/wwlt/2013/hastening/a-new-version?lang=jpn](https://www.lds.org/training/wwlt/2013/hastening/a-new-version?lang=jpn) から学んでください。福音を分かち合う喜びについて、[lds.org/topics/missionary-work/change](https://www.lds.org/topics/missionary-work/change) からさらに情報を得ることができます。また、[lds.org/church/share](https://www.lds.org/church/share) からインターネットで福音を分かち合う方法を学ぶことができます。

## 第一の原則を第一に

『わたしの福音を宣べ伝えなさい』に採り上げられているハイラム・スミスの言葉は深い意味があります。「福音の第一の原則を宣べ伝えなさい。繰り返し宣べ伝えなさい。そうすればあなたは、来る日も来る日もそれらについての新しい考えが明らかにされ、さらなる光が与えられることに気づくでしょう。原則について一層深く知るにより、それらを明確に理解することができます。そうすればあなたは、教える人々に一層はっきりと理解させることができるでしょう。」<sup>3</sup>

祝福師のハイラム・スミスは、この言葉の中で、これらの第一の原則は福音の真髄であって、一度目を通してだけで完全に理解できるというものではないことを説明しています。何度も啓示を受ける経験を重ねることで次第に光が加えられ、理解が深まるのです。

会員は、自分の証を述べ、宣教師に助けを依頼して福音を教えてもらう場合、福音の理解を増すのは福音を研究するだけでなく、福音を分かち合うことに参加するときでもあるということ覚えておいてください。わたしたちは、研究し、備え、御霊によって福音の原則を分かち合うとき、「一層はっきりと理解させることができるでしょう。」御霊は関係する全ての人、すなわち、会員と宣教師と求道者に一様に教え、証を述べるのです。

## なぜ、何を、どのように

伝道活動について、なぜ、何を、どのように行うかが、他の何にも増してモルモン書の中にはっきりと述べられています。伝道の目的を理解し、それを達成するために働いた人々の例が、モルモン書にたくさん出ています。わたしたちが教えるべき基本的な教義について、最も明確な説明がその聖文の随所に記されています。モルモン書には、改心をもたらす霊とこれらの同じ教義が真実であるという証があります。これを読み、誠心誠意これについて祈る全ての人は改心に導かれることでしょう(モロナイ10:3-5参照)。

モルモン書は、イエス・キリストが神の御子、また聖なるメシヤとして実際に役割を負っておられることを明確にしています。それはイエス・キリストを信じる信仰を持つように靈感を与えます。キリストのもとに人々を導きます。わたしたちは、モルモン書の筆者たちと、神の賜物と力によってそれを翻訳し





た預言者ジョセフ・スミスに永遠に恩があるのです。

わたしは証します。主が生きておられるように、モルモン書は真実です。イエス・キリストについてのモルモン書の証は真実です。その翻訳者ジョセフ・スミスは、回復の偉大な預言者です。モルモン書から学び、それを研究し、それから教え、それを愛読し、それに基づいて行動してください。そうすれば、福音を分かち合う理由が分かるでしょう。キリストのもとに来るように人々を招き、助けるのが、わたしたちの特権であり、義務であることが分かるのです。■

2008年6月22日にプロボ宣教師訓練センターで行われた、新しい伝道部長のためのセミナーでの話から。

注

- 1.『わたしの福音を宣べ伝えなさい—伝道活動のガイド』1
- 2.『わたしの福音を宣べ伝えなさい』1
- 3.『わたしの福音を宣べ伝えなさい』6

### 一つとなって働く

**会**員と宣教師は、喜びに満たされて福音に従って生活するとき、また活動や教会の礼拝行事、その他の行事に参加するように人々を招待するとき、救いの業に携わっている自分の姿を見ることができます。

十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老は次のように言っています。「わたしたちは皆、一緒にこれを行っています。同じワードの会員や宣教師とともに、計画し、祈り、互いに助け合います。どうぞ専任宣教師のことを考え、祈り続けてください。家族や友人を宣教師に託してください。主は宣教師を信頼して、主を求め人々を教え、祝福するために宣教師を召されたのです。」（『これは奇跡です』『リアホナ』2013年5月号, 79）

## 早見表

2部構成の第2部

イエス・キリストから福千年まで

(第1部は2014年2月号に掲載)

# 神の永遠の 聖約



アブラハムの聖約と呼ばれているものは実際には、アブラハムとその子孫に与えられた新しくかつ永遠の聖約です。それはアブラハムにとっては新しい聖約でした。なぜなら、福音の新しい神権時代の一部として受けたからです。しかし、同時に永遠の聖約なのです。その同じ聖約がアダムから始まり、全ての福音の神権時代における神の全ての子供たち及びからです。

十二使徒定員会のD・トッド・クリストファーソン長老は、この聖約に伴う事柄について説明しています。「新しくかつ永遠の聖約とはイエス・キリストの福音のことです。つまり、神と人の間で交わされる永遠の聖約の本質を成すのは、福音の教義と戒めです。そして、この聖約は各々の神権時代に新たに回復されるのです。」(『聖約の力』『リアホナ』2009年5月号、20参照)

この年表はイエスの時代、そして再び現代に更新された神の永遠の聖約の概観を示すものです。アブラハムに対する約束を含む主の聖約の約束を、どのようにして主がこれまで成就し、また成就し続けておられるかを示しています。

**51** イエス・キリストはカナン<sup>51</sup>の地にあるベツレヘムでお生まれになった。曠いと教導の業を通して、主はアブラハムおよび古代の預言者たちに対する約束の多くを成就された。  
ルカ1:68-75;2:4-7

**52** 預言  
末日および福千年の間、主はイスラエルの家に対する全ての約束を果たされる。  
ジョセフ・スミス訳  
ルカ3:4-11  
(『聖句ガイド』)

**53** 預言  
ユダヤ人の指導者たちはメシヤを拒む。主は十字架にかけられ、3日目に死者の中からよみがえられる。後に力と栄光のうちに地上へ戻られる。  
ルカ9:22、26-27

神権時代——  
時の中間

東半球  
西半球

\*紀元1年

30年

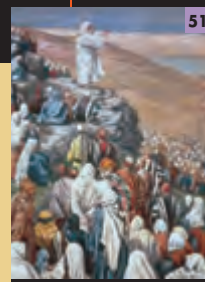
51

52

53



ユダの部族



51

ヨセフの部族

(ヨセフの子孫にはニーファイ人とレーマン人が含まれる)



行方の知らない十部族

**61** 預言  
モルモン書の出現は、神がその民との聖約を果たし始めたというしるしとなる。  
3ニーファイ21:1-7;  
29:1-4

**62** 預言  
イエス・キリストは福音を受け入れる全ての人と聖約を交わされる。  
3ニーファイ21:20-25

**63** 使徒ペテロは示現の中で、異邦人が福音の儀式と祝福を受けるであろうと言われた。預言62参照。  
使徒10章;  
ガラテヤ3:26-29

©2014 BY L. R. LAURENT RENAULT/HEMERA/THINKSTOCK

\* 初期の年代はおおよそのものであり、間隔は均一ではない。



**54** モーセとエリヤがペテロ、ヤコブ、ヨハネに神権の鍵を授けた。  
**マタイ 17:1-8**;  
**「聖句ガイド」**「**変貌**」の項;  
[scriptures.lds.org](http://scriptures.lds.org)

**55 預言**  
 エルサレムの町は破壊され、その民は殺され、散らされる。  
**ジョセフ・スミス** 訳—  
**マタイ 1:4-20**

**56 預言**  
 世の人々は使徒たちを殺し、背教する。神は末日に全てのものを回復される。  
**マタイ 17:11**;  
**ヨハネ 15:18-16:3**

**57** 神の御子は世の人々のために苦しまれ、死なれたが、死者の中からよみがえられた。預言 41 と 53 を参照。  
**マルコ 14:32-65**;  
**15:1-38**; **16:6-14**

**58** 使徒たちは全ての国民にイエス・キリストの福音を宣べ伝えるよう命じられた。  
**マタイ 28:16-20**

**59** イエス・キリストは復活された後、「父が、その地から導き出されたイスラエルの家のほかの部族」に姿を現された。  
**3 ニーファイ 15:15**;  
**16:1-3**

**60 預言**  
 神は御自分の民を全地から集め、御自分の約束を全て果たされる。  
**3 ニーファイ 16:5**;  
**20:10-13**;  
**21:26-29**

イエス・キリスト —— 十二使徒

イエス・キリスト —— 十二弟子

35年

100年

500年 大背教

54 55 56

57 58 59 60 61 62

63 64 65 66 67 68 69

70



54



58



57

**預言：ゼノスの比喩**

(紀元前約 400 – 紀元 100 年)

しばらくして、果樹園の主人と僕が果樹園に戻って来て見ると、全ての木が良い実を結んでいた。栽培されたオリーブの木の根の力によって、野生の枝が良い実を結んだ。栽培されたオリーブの木の枝は果樹園のあちこちに散らされて植えられ、やせた土地に植えられたものでさえ、たくさんの実を結んだ。良い土地に植えられた 1 本の枝は、良い実と悪い実を結んだ。(モルモン書ヤコブ 5:15-28 参照)

**ゼノスの比喩** (紀元約 100 – 1400 年)

果樹園の主人と僕が果樹園の木に養いを与えた後、木々は多くの実を結んだが、全て悪い実ばかりだった。栽培されたオリーブの木はあらゆる種類の悪い実を結んだ。野生の枝が根の力を負かしてしまったからである。栽培されたオリーブの木の枝に結んだ実全て悪い実であった。良い実と悪い実を結んだ 1 本の枝さえ結んでいた。果樹園の主人は涙を流して言った。「わたしの果樹園をだめにしたのは何者であろうか。」僕は言った。「それは果樹園の木が高くそびえているからではありませんか。」果樹園の主人は、果樹園を救うためにもう一度試みることにした。(モルモン書ヤコブ 5:29-51 参照)



70

**64** エルサレムのユダヤ人はローマ人によって殺され、散らされた。預言 55 参照。  
**「聖句ガイド」**「**エルサレム**」の項,  
[scriptures.lds.org](http://scriptures.lds.org)

**65 預言**  
 イエス・キリストの福音は、天使の教導の業により末日に回復される。  
**黙示 14:6-7**

**66 預言**  
 主は末日の偉大な伝道の業において主の使徒たちを集められる。  
**黙示 14:14-16**

**67 預言**  
 サタンは 1,000 年間縛られ、キリストが地を統治される。  
**黙示 20:1-6**

**68 預言**  
 新しい天と新しい地があり、新エルサレムの都が天から下って来る。  
**黙示 21:1-10, 22-27**

**69** 初代の使徒たちは拒まれ、殺された。福音の儀式は失われた。預言 56 参照。  
**2 テサロニケ 2:3**;  
**黙示 12:1-6**

**70** リーハイの子孫は邪悪になり、福音を拒んだ。  
**モルモン 8:1-10**;  
**モロナイ 1 章**



**71** 天の御父とイエス・キリストがジョセフ・スミスに現れ、新しくかつ永遠の聖約を回復する道を備えてくださった。預言 33 参照。  
**ジョセフ・スミス—歴史**  
 1:14-20;  
**教義と聖約** 1:17-23

**72** 天使モロナイがジョセフ・スミスに現れた。後にモルモン書が翻訳され、出版された。預言 33 と 61 参照。  
**ジョセフ・スミス—歴史**  
 1:27-54

**73** バプテスマのヨハネ、ペテロ、ヤコブ、ヨハネがジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに現れ、神の神権を地上に回復した。預言 65 参照。  
**ジョセフ・スミス—歴史**  
 1:68-73

**74** 末日聖徒イエス・キリスト教会がアメリカ合衆国ニューヨーク州フェイエットで組織された。預言 42 と 62 参照。  
**教義と聖約** 20-21 章

**75 預言**  
 全ての神権時代の主の僕たちが聖餐にともにあずかる。  
**教義と聖約** 27:5-14

**76 預言**  
 主イエス・キリストが福千年の1,000年間、地上に住まわれる。預言 44 も参照。  
**教義と聖約** 29:10-11

**77 預言**  
 サタンは再び解放され、しばしの間支配し、その後地球の終わりが来る。  
**教義と聖約** 43:29-33

神権時代—  
 時満ちる時代

預言者ジョセフ・スミス

1830年

1900年

2000年

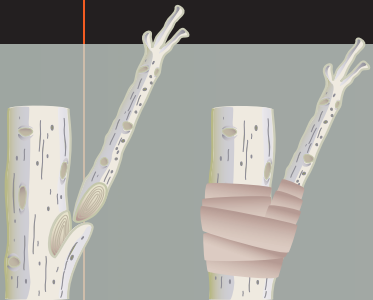
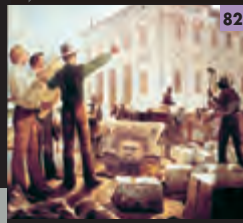
71 72 73

74 75 77 79 81 82 83  
 76 78 80

84

85

86



**ゼノスの比喩** (約 1800 年—福千年)

果樹園の主人は僕たちに、自然の枝を、栽培されたオリーブの木に接ぎ返し、野生の枝を元の木に接ぎ返すよう頼んだ。主人はまた、「良い枝が生長するに応じて」注意深く枝を接ぎ木するように頼んだ。手助けをする他の僕たちが連れて来られたが、その数は少なかった。主人は忠実な僕たちに、果樹園の実によって喜びを得られると約束した。(モルモン書ヤコブ 5:52-73 参照)

**79 預言**  
 全ての忠実な聖徒たちは、キリストが再臨されるとき、主に会うために引き上げられる。  
**教義と聖約** 88:95-98

**80 預言**  
 サタンとその軍勢は、福千年後の大いなる最後の戦いで、天使長ミカエルと天の軍勢によって打ち負かされる。  
**教義と聖約** 88:110-116

**81** モーセ、エライアス、エリヤが永遠の聖約を回復するために必要な神権の鍵を授けた。預言 65 参照。  
**教義と聖約** 110:11-16

**82** ノーブーの聖徒たちは神殿を建て、死者のための儀式が回復された。  
**教義と聖約** 124:29-34

**83** 末日聖徒イエス・キリスト教会の本部が北アメリカ西部に設立された。預言 42, 60, 62 参照。  
**イザヤ** 2:2-3

**84** イエス・キリストの福音が世界中に宣べ伝えられている。全ての人が福音を受け入れる機会を与えられる。預言 60, 62 参照。

**85** 神権の祝福が、種族を問わず全てのふさわしい人に及んだ。預言 62 参照。  
**公式の宣言二**

### 78 預言

イエス・キリストはシオンの山とオリブの山に立ち、大陸は一つの地となり、十二部族はそれぞれの受け継ぎを受ける。

教義と聖約 133:17-35;  
信仰簡章 1:10

1 イエス・キリストがエルサレム（聖地）と新エルサレム（北アメリカ）に御姿を現される。預言 78 参照。

2 イエス・キリストが再臨され、力と栄光のうちに地上に戻られる。イスラエルの行方の知れない部族とエノクの町が回復される。預言 52, 53, 78 参照。

3 キリストの弟子たちが復活する。預言 79 参照。

4 レビの子らが義をもってささげ物を主にささげる。

5 大いなる聖餐会が開かれ、全ての神権時代のキリストの弟子たちが聖餐にあずかる。預言 75 参照。

## イエス・キリストによる福千年の統治

### ゼノスの比喩

果樹園の全ての木が良い実を結び始めた。これらの木は「一つの体となり、実はずべて同じであった。」果樹園の主人は熱心に働いた僕たちを祝福し、果樹園の実を喜んだ。（モルモン書ヤコブ 5:74-76 参照）



### ゼノスの比喩

果樹園に悪い実が再び生じた。主人は良い実と悪い実を分別した。悪い実はずべて捨てられ、果樹園は火で焼かれた。（モルモン書ヤコブ 5:77 参照）

86 神殿が世界中に建てられ、生者と死者を問わず全ての人が福音の儀式にあずかるようになった。

教義と聖約 124:37-42

6 福千年が1,000年間、平和をもたらす。地球は更新される。預言 44, 52, 53, 76 参照。

7 サタンが解放される。預言 77 参照。

8 大いなる最後の戦いが起きる。サタンとその軍勢が打ち負かされる。預言 80 参照。

9 全ての人が復活した後、最後の裁きを受け、栄光の王国を受け継ぐか、または追放される。サタンは永久に追放される。

10 地球は聖められ、栄光を受ける。預言 68 参照。

「あなたはわたしの永遠の聖約、すなわち、人の子らのもとに送り出されたわたしの完全な福音を受け入れているので、幸いである。それは、昔の使徒たちと預言者たちによって書き記されたとおり、人の子らが命を得て、終わりの時に明らかにされる栄光にあずかる者とされるためである。」（教義と聖約 66:2）

## あふれるほどの幸せな思い出

子供時代に住んでいた家は配管が古く、基礎もしっかりしていなかったため、嵐が来て雨がたくさん降ると、必ず水浸しになりました。アメリカ合衆国バージニア州の嵐は数時間続くことがあるので、浸水はよくあることでした。

わたしは成長期のほとんどをその家で過ごしたため、浸水は当たり前のことだと思っていました。

何度も嵐を経験するうちに、わたしたちは浸水対策を改善し、力を合わせ

て働くようになりました。嵐は夜中に来ることが多く、両親は家族全員を起こして持ち場に就かせました。水は溶岩のように床下からじわじわと上がってきます。兄と父は、階段の吹き抜けにたまった水をバケツでかき出し、妹とわたしはカーペットを守るためにタオルで水を吸い取っていきました。

わたしたちはくすくす笑いながらタオルの上で跳びはねたり踊ったりしました。足の指の間に水が入り込み、パ

ジャマが裾からぬれていきます。母はぬれたタオルを手早く絞って乾燥機に放り込むと、水を吸い取れる新しいタオルを持って来ました。家はもう大丈夫だと分かると、わたしたちは台所に行って体を拭き、温かいココアを飲んでクッキーを食べ、労をねぎらいました。そして、まだ登校時間になっていなければベッドに戻って眠るよう努めました。

この浸水は両親にとってはきっと大きな悩みの種だったでしょうが、雷がどろき、稲妻が光っていたにもかかわらず、わたしにとっては子供時代の一番楽しい思い出です。実は、今でも湿ったカーペットの臭いがすると、家族で水をかき出したときのことが懐かしくなります。

両親は、自分たちだけでも浸水に対処できたでしょう。でも、家族全員の力を借りて家を守りました。そのことにとても感謝しています。水との格闘は楽しい作業でした。一緒に働き、しかも、それぞれが自分の役割を果たしたのですから。

わたしは大人になった今、このときのことを思い返して、どうやったら家族で働く喜びを同じように自分の子供たちに味わってもらえるかと考えています。今の家に浸水がないことには感謝していますが、わたしたち家族に良からぬものが侵入してくることは避けられません。

わたしの家族がこれからどのような問題に立ち向かうことになると、家族が一丸となって自分たちの価値観と信仰を擁護し、お互いを守っていきたいと思います。そうするならば、逆境のときにも肩を寄せ合って笑い、幸せを感じながら働くことができるのではないのでしょうか。■

ジーナ・スコニアーズ (アメリカ合衆国、ユタ州)

子供時代、家が浸水するたびに兄と父は階段の吹き抜けで水をかき出し、妹とわたしはタオルで次々に水を吸い取っていったものです。





## 与え、返ってきた神権の祝福

**何**年か前のことです。わたしたち家族がワードの他の夫婦と一緒に食事をしていると、地元の病院の救急科から電話がかかってきました。当時ステーク会長を務めていた夫は、職員からこう尋ねられました。「17歳の若者が頭部に重傷を負っています。お宅の教会の方で、どなたか来られる方はいらっしゃいませんか。」

病院に着いた夫は、若者がバルコニーから30フィート(約9メートル)下のコンクリートの歩道に落ちたことを知りました。意識不明で、助かる見込みはありませんでした。

夫と、一緒に食事をしていた兄弟がその若者に祝福を与えました。若者の家族は1,000マイル(約1,610キロ)ほど離れた所にいましたが連絡が行っており、容体について知らされていませんでした。

この若者は集中治療室で2、3日治療を受けた後、奇跡的に意識を取り戻し、回復の兆しを見せました。両親は4週間にわたって毎日病院に足を運んでいましたが、その後アメリカ合衆国アリゾナ州の病院まで飛行機で息子を連れて行き、そこで完全な回復を図れるようにしました。

わたしは、神権の癒やしの力のすばらしさを目の当たりにして驚きました。神権の力が働き、再び健康な未来を歩む機会がこの若い男性に与えられたのです。それに、神権による奉仕を行った夫やワードの会員たちに深く感謝しました。彼らは神の権能によって働く備えができていました。

この若者の両親の心痛が、手に取るように分かりました。息子が死ぬか生きるかというときにあんなにも遠くにい

たのです。でも、息子が神権の祝福を受け、教会員たちが喜んで助けてくれていることが分かって安心したそうです。それを知ってうれしく思いました。

数年後、わたしは1本の電話を受けて、このときの両親の気持ちがいよいよ分かるようになりました。2,000マイル(約3,220キロ)も離れた所に住んでいた息子が車にはねられたことを知らされたのです。職場でもあり、学生として学んでもいた大学に自転車で向かう途中の事故でした。息子に何もしてやれない自分を歯がゆく思いましたが、息子に神権の祝福を与えるために専任宣教師が呼ばれたことと、アメリカ合衆国ミネソタ州のセントポールにあるワードが息子の家族を助けてくれていることを知って有り難く思い、心が安らぎました。息子の妻は、事故の前日に出産したばかりでした。ワードの会員たちは息子の家に食事を持って行き、息子の妻と、他の3人の子供たちの世話をしてくれたのです。

息子を祝福してくれた宣教師は何と、その5年前にわたしの夫から祝福を受けた、あの若者でした。それを知ってわたしがどれほど深く感謝したか、想像してみてください。与えた

**息**子に神権の祝福を与えるために専任宣教師が呼ばれたことを知って、わたしは有り難く思い、心が安らぎました。

奉仕がそっくりそのまま返ってきたことに、驚嘆しました。

愛にあふれる天の御父は、わたしたち全員を知っておられ、何が必要になるかを御存じです。このことを思うと御父を信じるわたしの信仰はさらに深くなりますし、感謝の祈りにも力が入ります。この若い宣教師が息子に遣わされたのは、神がまさに一人一人の将来に何が起こるかを御存じだということをおわたしたちに知らせるためだったと、わたしは信じています。■

ジュリー・キース(カナダ、プリティッシュコロンビア州)



## 神が与えてくださることを知りました

**わ**たしが教会に入る前、夫は重い病気にかかりました。5人の子供たちのためにも、当時おなかにいた赤ちゃんのためにも夫を生き長らえさせてくださいと、わたしは一生懸命に祈りました。しかし、その祈りもむなしく、夫は亡くなりました。

夫が死ぬと同時に神への愛も、神に対する信仰や信頼もなくなりました。わたしは自分の肩にかかる責任の重さにあえぎましたが、幸いなことに、両親が来て助けてくれました。

それから2、3年後のことです。ある日、玄関をノックする音が聞こえました。見知らぬ二人の人が人懐っこい笑顔を浮かべ、手に1冊の本を持って立っています。末日聖徒イエス・キリス

ト教会の宣教師だと自己紹介されました。その教会の名前は聞いたことがありませんでした。忙しいからと言うと二人は帰りましたが、わたしは彼らのことをずっと考えていました。

翌日、同じ二人が近所の人に本を見せているのを見かけました。興味を感じて近づくと、この宣教師たちはわたしに気がつき、訪問してもいいかと、また尋ねてきました。わたしは「いつでもどうぞ」と言いましたが、こんな返事をしてしまったことに自分でも驚きました。

宣教師の教えを聴きモルモン書について学ぶうちに、わたしは自分がこれまで間違いを犯してきたことを認め、罪を悔い改め、次第に神を身近に感じ

るようになりました。しかし、宣教師から教えを受けていることを知って両親は怒りました。わたしと子供たちを勘当すると脅したのです。宣教師はバプテスマを受けるよう勧めてくれましたが、わたしは断りました。両親の助けがなければ生活することができなかつたからです。

長老たちは帰る前に、第3ニーファイ13:31-34を読んでくださいと言いました。「まず神の王国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのはすべて添えて与えられるであろう。」(33節)わたしはこれを読んだとき、神を第一に考えて神の戒めを守るならば、天の御父は必要なものを与えてくださることを知りました。宣教師が次に来てくれたとき、わたしたちはバプテスマの日付を決めました。

バプテスマの日、母の怒りの声によって心によみがえりました。不安を感じましたが、水の中に入ってバプテスマを受けました。水から上がるととても幸せな気持ちになり、教会員に確認されて聖霊の賜物たまものを受けたときには、重荷が取り去られるのを感じました。

両親はわたしが教会に入ったことを聞くと、わたしを勧告しました。しかし、1年後には和解し、その後わたしの二人の妹が、両親の同意を得てバプテスマを受けました。

結局、わたしの子供たちのうち3人が専任宣教師として伝道に出ました。わたしは教会員になって、もうすぐ40年になります。とても大きな祝福を受けてきました。これは全て、わたしの家の玄関をノックし、モルモン書を紹介し、わたしが神への愛と信仰と信頼を取り戻せるよう助けてくれた、二人の宣教師のおかげなのです。■

アベセミア・トルジーヨ (フィリピン、アルバイ)

**バ**プテスマの日、わたしは不安を感じましたが、水の中に入ってバプテスマを受けました。





## 何を歌ったらよいでしょうか

40年近く前のことです。ニュージーランドのレビンという町で専任宣教師として奉仕していたとき、わたしは毎週火曜日に初等協会の子供たちのためにピアノを弾いていました。福音の教えに満ちた初等協会の歌と一緒に歌いながら、この子供たちのすばらしさに感激したことをよく覚えています。

2013年2月、わたしは休暇を取ってニュージーランドに戻りました。ハイキングが大好きなので、南島にあるフィヨルドランド国立公園の有名なミルフォードトラック〔遊歩道〕の4日間ハイキングコースに申し込んだのです。

参加者はアメリカ人が3人で、後の37人はオーストラリアやブラジル、イングランド、フィンランド、ドイツ、イスラエル、ウルグアイなど、世界各国から来た参加者たちでした。言語の壁はありましたが、わたしたちはハイキングをしながらできる限り努力をして、考えていることや体験談、意見を交換しました。きずなが強まるにつれてわたしたちは文化の違いを気にしなくなり、先入観は薄れていきました。

ハイキングも3日目が終わろうとする頃、参加者の一人がさっと立ち上がり、タレントショーをしようと提案しました。

友情も育ってきたことだし、さらに交流を深めたいと思ったのです。自分から始めると言ってこの人が披露することにしたのは漫談でした。イスラエルのカエサリアの職場で練習したそうです。最初の話は上出来で、次の話に移ると宣言しました。しかし、いかがわしい話が始まったため、これでは心を高めるところか、とんでもない夜になりかねないとわたしは思いました。

彼が話し続ける間、この人たちのために歌いたいという気持ちを強く感じました。でも、全世界から来ているこの新しい友人たちに何を歌ってあげたらよいのでしょうか。すると、断然これだ、という答えが来ました。それは、「神の子です」でした（『賛美歌』189番）。

不安はありましたが、ニュージーランドの初等協会の子供たちの思い出とその子供たちへの愛が、わたしを奮い立たせてくれました。わたしは立ち上がり、40年近く前にニュージーランドの子供たちと一緒に歌った特別な歌を歌うと説明しました。自分は宣教師で、その子供たちを教え、愛するようになったことを話しました。そして、この人たちに祝福が注がれるような歌い方ができますようにと、心の中で祈りをささげたのです。

歌はうまくいき、歌い終わると御霊を感じる事ができました。新しい友人たちも笑顔を見せてくれました。それに歌が心を開いたらしく、程なくして他の人たちも立ち上がり、音楽の才能を披露し始めたのです。4人の女性グループはそれまで乗り気ではなかったのに、自分たちの教会の歌を何曲か歌ってくれました。また、ユダヤの民謡を教えてくれた参加者もいました。

タレントショーの最後には、オーストラリア出身の若くて美しい女性が、母語であるマオリ語の歌を3曲歌ってくれました。天の御父の御霊が本当にわたしたちに降り、自分たちが単にいろいろな土地から来た「異国人でも宿り人でも〔ない〕」ことを教えてくれました（エペソ2:19）。

小さな町レビンの、あの初等協会の子供たちに感謝します。人は皆天の御父の子供だという真理をわたしの心に植え付けてくれたのは、この子供たちです。それに、この子供たちの思い出のおかげでこの証を歌で分かち合う勇気が得られたことにも感謝しています。■  
アベセミア・トルジーヨ（フィリピン、アルバイ）

この人たちのために歌いたいという気持ちを強く感じました。でも、全世界から来ているこの新しい友人たちに何を歌ってあげたらよいのでしょうか。





神の天からの影響力  
は海の潮流のよう  
に、神の計画に添っ  
てわたしたちを導い  
てくれます。

多年にわたって住むかのように

# この地で行動する

デニス・C・ゴント

**多**くの子供と同じように、わたしも大きくなったら何になるか夢見ていました。わたしの場合、月で活躍する消防士になると心に決めていました。5歳のわたしにとって、それ以外の未来は考えられませんでした。ほとんどの人は、子供の頃、大人になったらどんな人生を送りたいか夢見たことでしょう。同時に、ほとんどの人は人生を振り返って「こんなはずじゃなかった」と嘆いたことが一度くらいはあると思います。

人生の全体図を見るうえで役立つ二つの聖句があります。一つ目は次の聖句です。

「わが思いは、あなたがたの思いとは異なり、わが道は、あなたがたの道とは異なっていると主は言われる。

天が地よりも高いように、わが道は、あなたがたの道よりも高く、わが思いは、あなたがたの思いよりも高い。」(イザヤ 55:8-9)

二つ目は「〔神〕は世のためになる



ことでなければ何事もなさない。……〔神〕は世を愛しておられるからである」です(2 ニーファイ 26:24)。

これらの聖句は、天の御父がなさることは全て、わたしたちがその理由を理解できなくても、最終的にはわたしたちのためになさっていると教えています。神の思いと道はわたしたちのものよりも高いので、わたしたちは自分の生活を高めて神の用意された計画と一致させる必要があるのです。

さまよいながら心も迷う

わたしたちはときどき、イスラエルの民が40年間荒れ野をさまよってから約束の地に入ったことについて話すことがあります。民が止まるべきときには幕屋の上に雲または火の柱がとどまり、それが動くと、宿営はその後をついて行きました(民数9:15-18, 21-23参照)。彼らは40年荒れ野にいる間、心の中でも「迷っていた」ことだろうとわたしは思います。いつ移動するか、いつどこで止まるのか、そしていつ約束の地に着くのか、と。

この話は象徴にあふれています。わたしたち一人一人は現世の生涯という荒れ野を旅しながら、神とともに永遠に住むことができる「約束の地」にたどり着きたいと望んでいます。神はわたしたちをそこへ導いてくださると約束されました。一人一人が従順になり、悔い改め、神権の儀式を受け、忠実に堪え忍ぶという同じ道に沿ってさまよう必要がありますが、それぞれの人生は独特です。

十二使徒定員会のリチャード・G・



ヤングアダルト



スコット長老は次のように語っています。「主は、あなた個人のために立てられた計画に添って導くため、穏やかな川の流れのような、天からの影響力というものをあなたの人生に与えられています。御霊を通し、主があなたの人生において示されている指示を理解し、それに注意深く従うよう求めてください。自分自身をその道に沿わせてください。自らの選択の自由を行使して進んでそれに従う道を選んでください。」<sup>1</sup>

イスラエルの陣営にとって、どちらが耐え難い状況だったと思いますか。住みにくい場所に1年いることでしょうか。それとも、快適な場所を2日で離れることでしょうか。どちらの場合も、民の信仰が試されたと思います。

わたしたちも同じです。現状に不満がある場合、いつになったら状況が変わるのかと思うかもしれませんが、あるいは、心地よくこなしている日課に予定外の変更が生じるかもしれません。わたしたちが幸福かどうかの大部分は、これらの経験にどう対処するかによって左右されます。さまよいながら心も迷ったままで人生を送ってしまうと、霊的に成長できるすばらしい機会を見逃してしまうかもしれないのです。

### 時を過ごさず、今日なせ

1831年の春、聖徒たちはオハイオ州カートランドに集合し始めていました。リーマン・コプリーという会員は、カートランドに近いトンプソンという町にある自分の農場に、ニューヨーク州コーズビルから来た聖徒の団を滞在させることに同意しました。1831年5月、主は預言者ジョセフ・スミスに次のことを明らかにしました。

「また、主なるわたしが彼らのために別の備えをして、彼らにここから出て行くよう命じるまで、わたしはしばしの

間、彼らのためにこの地を聖別する。

その時もその日も彼らには示されな  
い。それゆえ、彼らに、**多年にわたって  
住むかのようにこの地で行動させなさい**  
。そうすれば、これは彼らのために益  
となるであろう。」(教義と聖約 51:16 -  
17, 強調付加)

荒れ野の中で雲に従って進んだイスラエルの民と同じように、聖徒たちはコプリー農場に永住できないことを承知していました。時が来たら、別の場所に移動することになるのです。しか

**わたしたちは現状に  
不満を持っていて、いつ  
になったら状況が変わるのか、  
ずっと考え続けるかもしれ  
ません。もしそうであれば、  
霊的に成長できるすばらしい機  
会を見逃してしまいます。**

し、滞在期間がどれくらいであろうと、何年もの間そこに住むかのように行動しなければなりません。

では、主はなぜこのようなことをお勧めになったのでしょうか。一部の聖徒は、他の人がよりよい環境で生活しているのを見て、泥だらけの畑で馬車やテントに住むことがっかりしたかもしれません。主の勧告は彼らの物の見方を、落胆的な見方から希望ある見方に変えたことでしょう。

同じように、わたしたちも自分が夢見るようなものを持っている人、すなわち良い家族や家庭、仕事を持っている人、人生に明確な方向性を持っている人を見ると、がっかりするかもしれません。例えば、あるワードや支部に長く集えな

いことを知っていたら、「わざわざ召しを受ける理由があるだろうか。誰かと知り合う意味はあるだろうか」と思うかもしれません。教会には集うかもしれませんが、その経験から学ぶことを全て学ぶことはできません。自分が持っていないものにばかり集中していると、**実際に持っているものに本当に感謝しそびれてしまう**かもしれません。

ある賛美歌で歌われるように、本当に「なすべき業ここにありその時は今あり『いつかなす』』と書いて時を過ぎさず、今日なせ」なのです。<sup>2</sup>

わたしたちが「多年にわたって住むかのようにこの地で行動する」なら、今まで見えなかった機会があることに気づき始めます。しかも、中には二度と訪れない機会もあることに気づき、次のように思うことでしょう。「どうせここにいるなら、もっと積極的に参加して最善を尽くし、幸せになる道を選ぼう。将来のために夢見ていることはあるけれど、それが実現するまではここで善いことをしよう。」これが立ち泳ぎするのと、実際に泳ぐことの違いです。

結局、トンプソンに逗留した聖徒たちはあまり長くそこにいませんでした。リーマン・コプリーが自分の土地に聖徒たちが滞在するのを許可する約束を破ったからです。主は後にこの聖徒たちをミズーリ州に行かせますが、コプリー氏の農場で最善を尽くしたことで彼らを祝福されました。

大管長会第二顧問のディーター・F・ウークトドルフ管長は次のように述べています。「現在という深い谷は、未来の経験という山から振り返って見なければ理解できないことがよくあります。試練が去って長い時間が過ぎるまで、主の御手に気づかないこともよくあります。また人生で最も困難な時期が、人格の土台を築き、将来の機会と理解と幸福に至る道を開くために欠



かせない要素になることが多いものです。』<sup>3</sup>

### 心を引き戻さないようにする

ときどき、主の時を信頼せずに自分の思う時期に物事を成し遂げたいと思うあまり、問題にぶつかることがあります。

リーハイがエルサレムを脱出した話をレーマンやレムエルの観点から考えてみてください。彼らの快適な生活は、エルサレムが滅ぼされるから家族



で逃げなければならないというリーハイの言葉で中断させられます。彼らは荒れ野へ出て行きますが、ラバンから真鍮しんちゆうの版を手に入れるためにすぐに戻ることになります。荒涼とした砂漠を何日も苦勞して歩いて来たのに、結局、ラバンに貴重な品々を盗まれ、殺されそうになります。わたしも同じ目に遭ったら怒るでしょう。

そのうえ、エルサレムの様子がいつでもおりだったことで、レーマンとレムエルはさらに腹を立てたことでしょう。煙が立ちのぼる廢墟を予想しながら町に戻ったかは分かりませんが、次のような思いがよぎったと想像できます。「エルサレムは滅ぼされるはずではなかったのか。町の中はいつもどおりなのに、どうしてわたしたちは荒れ野で無駄な時間

を過ごしているのか。」いずれにせよ、これらの出来事のすぐ後に、二人はニーファイとサムを棒でたたきました（1 ニーファイ 3：29 参照）。

物事が思いどおりに運ばないとき、火の柱の進み方が遅すぎると思うとき、見渡す限り農夫の畑しかないとき、わたしたちもレーマンとレムエルのように落胆し、信仰を捨てて神に不満をぶつけてしまうかもしれません。

十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老（1926 - 2004 年）は次のように教えています。「全知全能の神が定められた時を待ち切れない人は、自分が最善の方法を知っていると言っているようなものです。おかしなことに、腕時計をしている人間が、宇宙の時と暦を管理しておられる主に忠告しようとするのです。』<sup>4</sup>

もちろん、人生は楽しいことばかりではありません。自分も含めて、人生が全て思いどおりに進んだ人を知りません。しかし、それと同時に、思いどおりにいなくても、たとえ月で消防士をしていなくても、今の人生に満足しているという人をたくさん知っています。

この前向きな物の見方ができるようになるのは、それぞれの「荒れ野」を渡る間、前向きな態度で主に忠実に従うときです。前向きな態度でいるなら、荒れ野での経験は思ったほど悪くなかったことに気づくでしょう。あるいは、そのような経験は本当に有意義だったと、その価値を認めるかもしれません。主はわたしたち一人一人に次のように言われました。

「あなたがたが完全になるまで忍耐し続けなさい。

あなたがたの心を引き戻さないようにしなさい。そうすれば、あなたがたがふさわしくなって、わたしがよいと思うときに、……目にし、知るであろう。」

（教義と聖約 67：13 - 14）■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

自分の状況にかかわらず感謝する方法を学ぶには、『リアホナ』5月号または<https://www.lds.org/general-conference/sessions/?lang=jpn> で4月の総大会でのディーター・F・ワークトドルフ管長の説教「どんな状況にあっても感謝する」を参照してください。

注

1. リチャード・G・スコット「主は生きておられる」『リアホナ』2000年1月号, 104
2. 「今日われ善きことせししか」『賛美歌』137番
3. ディーター・F・ワークトドルフ「忍耐し続ける」『リアホナ』2010年5月号, 58
4. ニール・A・マックスウェル「イエス・キリストの贖罪を通して得られる希望」『リアホナ』1999年1月号, 67 - 68

# 天の御父は「いいえ」と「はい」と言われた

交際を始めて間もない頃、ヨナスはBYUに入学願書を出して、次の学期から入学しようと思っていることを教えてくれました。彼がプロボで最初の学期を終えたとき、わたしたちは神殿で結婚し、一緒にBYUに通学を始め、同じ日に卒業しました。

今振り返ってみると、BYUに入ることについてわたしが熱心に祈ったとき、天の御父がどうして初めは「いいえ」、あるいは正確には「まだです」と答えられたのか分かります。そのときのわたしの望みに対して御父は「いいえ」と言われましたが、もっと大切な望みに対しては実は「はい」と言っておられたのです。わたしは少女のときから、正しいときに将来の夫と巡り合えるようにとしばしば祈っていました。わたしたちはBYUでも出会えたかもしれませんが、さらに偉大な計画の一部として、スウェーデンで出会う必要がありました。もしかしたら天の御父がわたしたちの祈りに「いいえ」とお答えになる場合、その多くは、わたしたちの人生に用意されているさらに偉大な計画に「はい」とお答えになるために不可欠なのかもしれません。

## みこころ 御心がなりますように

イエス・キリストはゲツセマネの園で次のように熱心に祈られました。「わが父よ、もしできることでしたらどうか、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。」そして次のように付け加えられました。「しかし、わたしの思いのままではなく、みこころのままになさって下さい。」(マタイ26:39) イエス・キリストが苦い杯から飲むことをお選びになったのは、それが人類の罪を贖う救い主あがなを用意するという、神のより偉大な計画の一部であることを御存じだったからでした(3ニーファイ11:11参照)。

同じように、わたしたちは天の御父がわたしたちの人生のために計画を用

## アンジェリカ・ハグマン

**高**校を卒業する年、スウェーデンに住んでいたわたしは、ユタ州のプリガム・ヤング大学(BYU)に入学願書を出すことにしました。しかし、一つだけ問題がありました。自分の決断に対して神の承認を得ようとどんなに熱心に祈り求めても、どうしてもしっくり来なかったのです。わたしは心の中で次のように思いました。「『いいえ』とお答えになるはずがあるだろうか。いろいろな面で、BYUに行くことは正しい決断のように思われる。特に、神殿結婚を望んでいるわたしにとって、スウェーデンにいるよりもBYUに行った方が、それがかなえられる確率はずっと高くなる。」ところが、それは正しい決断ではありませんでした。そのときのわたしにとっては正しくなかったのです。

がっかりしたわたしは、BYUに入学する計画をあきらめて、スウェーデンの大学に志願しました。すると、BYUに出発していなくなっていたはずの時期に、伝道から帰還したばかりのヨナスと恋に落ちました。ヨナスが伝道に行く前、同じ青少年の活動に何度か出席したことがあったはずですが、それまで彼に気づいたことはありませんでした。彼のカリスマ性と、つられて笑ってしまうような笑い声をどうして見落としていたのか、自分でも不思議で仕方ありません。

わたしは天の御父が「いいえ」と言われたのだと  
思いました。しかし御父は、  
本当はわたしの人生の  
さらに大きな計画に  
対して「はい」と  
言っておられたのです。



意しておられることを知っています。わたしたちに対する神の計画について詳しいことは分からなくても、わたしたちの祈りへの天の御父の答えを信頼して、「御心がなりますように」と言うことができます。

キリストが御自身の心を神の御心に添わせられたとき、救い主の贖罪しよくさいを含む全人類のためのさらに偉大な計画が明らかにされました。同じように、

わたしたちも自分の思いを神の御心に添わせるなら、天の御父はわたしたち一人一人のためにさらに偉大な計画があることを明らかにしてくださるでしょう。この世の生涯を生きていくとき、わたしたちはイエス・キリストが執り成しの祈りの中で懇願された次のような祝福を受けることができます。「父よ、それはあなたがわたしのうちにおられ、わたしがあなたのうちにいるよう

に、みんなの者が一つとなるためであります。すなわち、彼らをもわたしたちのうちにおらせるためで……あります。」(ヨハネ 17:21)

天の御父が一部の祈りに「いいえ」とお答えになるのは、他の祈りにはっきりと「はい」とお答えになるためであることに心から感謝しています。■

筆者は現在、アメリカ合衆国カリフォルニア州在住です。



### 神は全体図を御覧になる

「実に驚くような力の源、強さの源、慰めの源が一人一人の手の届く所にあります。わたしたち自身よりもわたしたちのことを御存じの御方が、また、はるかに広い視野をお持ちで、初めから終わりまでを御存じの御方が、わたしたちが求めさえすればわたしたちのためにそばにいて助けると約束しておられるのです。わたしたちにはこのような約束があります。『常に祈り、そして信じていなさい。……万事があなたがたの益となるようにともに働くであろう。』〔教義と聖約 90:24〕」

トーマス・S・モンソン「決して独りで歩いているのではない」『リアホナ』2013年11月号、122



# 最も 知る価値のある 真理

つまずいたことがあったとしても、しばらくの間道が分からなくなることもあったとしても、皆さんはもはやこの世であちらこちらにさまよい歩くことなく、信仰をもって前進することができます。



十二使徒定員会会長  
ボイド・K・  
パッカー会長

**青** 少年の中には、疑問を抱いている人や導きを求めている人がいます。どうして福音の道からそれたのか、その道に戻るにはどうすればよいのか思い悩んでいる人もいます。わたしはこれから皆さん全員に話しますが、特に、今何かを探し求めている人に向けて話したいと思います。

## あなたの霊の負債

わたしたちは皆、霊の負債を負って生きています。いろいろな点で、収支計算書上の支出がどんどん増えていきます。その都度清算していけば、心配する必要はほとんどありません。やがて皆さんは規律や自制を学び、自らの行いを精算する日が来ることを知ります。霊の負債を定期的に清算できるようになってください。金利や違約金がたまるに任せてはなりません。

皆さんは今も試しを受けています。ですから、幾つか過ちを犯すこともあるでしょう。これまでの人生で後悔するようなこと、謝罪することすらできないようなこと、正しいとはとうてい言えないようなこともやってきたのではないのでしょうか。そうすると、重荷を背負うこととなります。皆さんは、恐らく、「期限切れ」という印が押された霊の収支計算書の重荷

のために心身ともに弱り、悩み、苦しんでいるかもしれません。（わたしたちの多くが避けようとしては）じっと考え、正面から自分自身と向き合ったときに、気になる未解決の事柄が何かあるでしょうか。何か心に引っかかることがあるでしょうか。大小にかかわらず、今でも何らかの罪悪感があるでしょうか。

わたしたちは、大きな過ちを犯して苦しんでいる人たちから手紙を受け取ることがよくあります。彼らはこう尋ねます。「わたしは救われるのでしょうか。変われるのでしょうか。」答えは「はい」です（1コリント10：13参照）。

## 悔い改めによる解放

福音は、悔い改めることにより、苦しみや罪悪感から解放されると教えています。完全な福音を知った後で滅びに落ちたごく少数の人は別として、大小を問わず、完全に赦されるという約束の対象とならない悪習や依存症、背き、罪科はありません。これまでの人生がどうであれ、皆さんが聖霊のささやきに耳を傾けるならば戻ることのできる道を、主は用意しておられます。

抗しがたい衝動や心の中に繰り返し起こる誘惑にさいなまれている人もいます。恐らく、それが習慣となり、依存症になっていくので

しょう。人には陥りやすい背きや罪がありますし、生まれつきこうなのだから自分のせいではないと正当化してしまう傾向もあります。わなにはまって苦しみ、悩みますが、これを癒やすことができになるのは救い主のみです。皆さんは、やめることができます。やめれば贖<sup>あがな</sup>われるのです。

### ポルノグラフィーというガラガラヘビ

大管長会第一顧問を務めたマリオン・G・ロムニー管長(1897-1988年)は、かつてわたしにこう語りました。「単に彼らが理解できるように話すのでは不十分です。彼らが誤解することのないように話してください。」

ですから、よく聞いてください。わたしは召された者として、またそうする義務を与えられているので、分かりやすく話します。

**ポルノグラフィーを集めたり、見たりするのは、リュックサックの中でガラガラヘビを飼っているようなものです。**

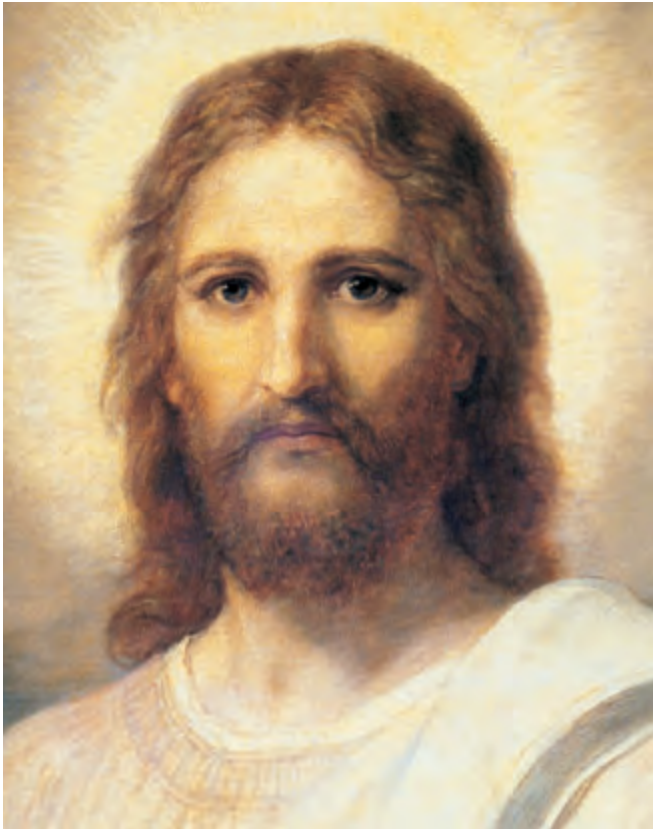
皆さんは、ポルノグラフィーという災いが全世界で猛威を振るっている時代に生きています。この猛威から逃れるのは容易なことではありません。ポルノグラフィーは皆さんの特質の中でも命を生み出す力を有する部分を標的にしています。

ポルノグラフィーにふけていると厄介な問題が起こり、離婚や病気、様々なトラブルが生じます。無害な点などありません。ポルノグラフィーを集めたり、見たり、どんな形であれ持ち運んだりするのは、リュックサックの中でガラガラヘビを飼っているようなものであり、避けることのできない霊的な攻撃に身をさらすことになります。ヘビにかまれて致死量の毒が体内に入るようなものです。容易に分かることですが、現在のような世界では、恐ろしい結果が待っていることに気づかないまま、ほとんど悪気もなくポルノグラフィーに接し、ポルノグラフィーを読み、見ることができます。もし皆さんがそのような状況にあるとしたら、やめるように警告します。今すぐやめてください!

全ての人は「善悪をわきまえることを十分に教えられている」とモルモン書は教えています(2ニーファイ2:5)。







これには皆さんも含まれています。皆さんは何が正しく何が間違っているかを知っています。その境界線を越えないよう、くれぐれも用心してください。

ほとんどの過ちは個人的に主に告白すればよいのですが、それだけでは赦されない背きもあります。重大な過ちを犯した人は、ビショップのもとに行ってください。そうでない場合は、普通の告白、静かに個人的に行う告白で十分です。しかし、偉大な赦しの朝はすぐに来ないこともあるということを忘れてはなりません。たとえ最初はずまずいたとしても、あきらめないでください。落胆を克服することも試しの一部だからです。あきらめないでください。また、以前にも勧告したように、いったん罪を告白し捨てたら、振り返ってはなりません。

主はいつでも皆さんのそばにおられます。皆さんが喜んで主を自分の贖い主として受け入れるならば、主も喜んで苦しみを受け、代価を払ってくださいます。

### 救い主の苦しみは、わたしたちの罪のためであった

生身の人間であるわたしたちには、イエス・キリストがどのようにして贖いの犠牲を果たされたのか理解できません。しかし現時点では、主がどのように苦しまれたかよりも、なぜ苦しまれたかの方が大切です。主はどうして皆さん

のために、わたしのために、また全人類のために苦しまれたのでしょうか。父なる神と全人類を愛しておられたがために苦しまれたのです。「人がその友のために自分の命を捨てること、これよりも大きな愛はない。」(ヨハネ 15:13)

ゲツセマネで、キリストは弟子たちから離れて祈られました。そこで何が起こったのかを理解することは、わたしたちにはとうていできません。しかしこのことは分かります。主は贖罪を完成されたのです。主は、全世界の人々の過ち、罪、罪悪感、疑い、恐れを御自身の身に引き受けられました。わたしたちが苦しまずに済むように、わたしたちに代わって苦しまれたのです。

### 完全な赦しは可能である

つまずいたことがあったとしても、しばらくの間道が分からなくなることすらあったとしても、また敵対者に今捕らえられていると感じていたとしても、皆さんはもはやこの世であちらこちらにさまよい歩くことなく、信仰をもって前進することができます。皆さんを導いて平安と安全へと引き戻してくれる人たちがいるのですから。聖文で約束されているように、「わたしたちが自分の行えることをすべて行った後に」、神の恵みは注がれるのです(2 ニューフェイス 25:23)。この可能性は、わたしにとって、最も知る価値のある真理の一つです。

わたしは輝かしい赦しの朝が訪れることを約束します。その時が来れば、「人知ではとうてい測り知ることのできない神の平安」(ピリピ 4:7) が再び朝日のように人生に注がれ、皆さんも主も、「もはや[皆さんの]罪を思わない」ようになるでしょう(エレミヤ 31:34)。赦されたことはどのようにして分かるのでしょうか。皆さんにはきっと分かります(モーサヤ 4:1-3 参照)。

これこそ、わたしが悩める皆さんに伝えたいことです。主は助けに来られて皆さんには解決できない問題を解決して下さいますが、皆さんは代価を払わなければなりません。皆さんが代価を払わなければ、主は問題を解決してはくたさしません。必要な代価をいつも払ってくださるという点で、主は思いやりの深い統治者であられますが、たとえつらくとも、皆さんにはなすべきことをするよう望んでおられます。

わたしは主を愛しています。主を送ってくださった御父を愛しています。落胆、罪、罪悪感というわたしたちの重荷は、主の前に置くことができます。そして、主の寛大な条件の下で、収支計算書上に記されたそれぞれの項目には、「支払い済み」の印が押されるのです(イザヤ 1:18-19 参照)。





# わたしたちのスペース

## 標準と友人

**学**校に行き始めてからずっと、わたしたちの教会の道徳的な標準を理解してくれない友人がいました。最初是对応が大変でしたが、そのうち友人は、道徳的に清くありたいというわたしの思いを認めてくれるようになりました。わたしは清く汚れないよう生きることを人生の目標にしました。それは、自分だけでなく、以前わたしを批判した人たちにも良い結果をもたらしています。時間がたつにつれ、わたしたちの温かい友人の輪に敬意と平安と喜びが感じられるようになりました。

ビクトリア・M (ブラジル)

## 友人を救す

**同**じ年代のグループで唯一の教会員であるわたしは、友人の言葉に傷ついたことが何度かありました。時々、彼らはわたしの宗教を非難したり批判したりすることがあります。本当に独りぼっちに感じますが、教会

の標準を知っていることに感謝しています。

友人の言葉に傷つくときは、謙遜けんそんになって争いを避けるように努めます。争いは悪だと知っているからです。彼らが教会について何か話し始めると、わたしはただ、福音を信じる自分の信条あかしについて証あかしすることになっています。

謝ってくれてもくれなくても、いつも友人を救します。救すというのは、単に「救すよ」とか「大丈夫」と言うことではありません。なぜなら、救しには深い意味があるからです。それは、わたしたちが天の御父に救してもらえるよう

に、イエス・キリストがわたしたちの罪を贖あがなってくださったということです。

友人たちはまだ、わたしの信仰を理解していませんが、わたしは自分が神の御手みてに使われて、彼らに福音を教えることができると知っています。彼らを助けると同時に、自分が霊的に成長し、伝道に備えるうえで役に立っています。

ジョシュア・V (フィリピン)

## 大好きな聖句

**天**の御父は「小さな、簡単なこと」(アルマ 37:6)を通して御業を進められます。ジョセフ・スミスは世の人々の目には偉大な人物とは映りませんでした。神はジョセフを使って教会を回復されました。しかも、回復のきっかけになっ

たのは、祈りという非常に簡単なことだったのです。主のぶどう園で働くのに、自分はあまりにも取るに足りない存在だとは思わないでください。善い模範となることで、隣人が教会員になるのを助けることができます。神が必要としておられるのは偉大な人物ではなく、ただ忠実で従順な人なのです。

ロニック・R (ハイチ)



# 同僚宣教師

皆さんの家族は、神の家族を一つにする助けができます。  
皆さんも、自然で感じの良い方法で福音を伝えることができます。

(M・ラッセル・バラード「主に信頼を寄せる」『リアホナ』2013年11月号、43参照)







# バナナブレッド 宣教師

彼ら若い男性は、パンを一切れ分かち合うことで、  
自分も含め、大勢の人の人生を祝福しています。

教会機関誌

ミンディー・レイ・フリードマン

**誰**かにおいしいバナナブレッドを一切れ勧められたら、あなたはどのような態度で応じますか。エクアドルのあるワードの若い男性にとって、バナナブレッドを勧めることは福音について話すきっかけになっています。

彼らは2か月に1度、ワード区域内の様々な場所でオープンハウスを行う宣教師デーを催しています。幾つかのグループに分かれますが、各グループは、若い男性一人、専任宣教師または伝道から戻ったばかりの帰還宣教師一人、そして長老あるいは大祭司が一人で構成されています。張ったテントにとどまって活動するグループもあれ

ば、公園で人に話しかけたり、戸別訪問をしたりするグループもあります。

人に会おうとまず、バナナブレッドを一切れ勧めます。その人が受け取れば、パンはおいしくて体に良いけれども、宣教師は人の魂を養うメッセージをあげられると伝えます。そして若い男性と同僚たちは、宣教師と会って話を聞くように勧めます。そのようにして、2、3時間で40件から50件のリフェローを宣教師に提供することができます。

若い男性はまた、定員会の仲間もフェローシップしています。土曜日、彼らは若い男性の活動として集まり、一緒に「神への務め」のプログラムに

取り組みます。それが終わったら、定員会のあまり活発でない会員を訪問します。教会に出席するように励まし、一緒にスポーツやその他の活動に参加するように誘います。

そればかりでなく、他の多くの方法によって、若い男性は生涯を通じて宣教師となる備えをしています。そのうちの二人(右)が、このような経験を通して自分がどのように強められ、鼓舞されてきたか分かち合ってくれました。

ワードの宣教師、ルネ・セザンソンの写真により掲載





## 福音によって変わった

**教**会の会員になって5年になります。両親は会員ではありませんが、叔父のホルヘが若い男性会長で、とても助けられてきました。いつも支え、励ましてくれるビショップにも感謝しています。

ワードの宣教師デーの後に、教会についてもっと知ろうと決心しました。教会に入ろうと思った最初の経験の一つでした。執事や教師だったとき、そして祭司となった今も、指導者たちはいつもほくを支え、全ての伝道活動に参加するよう励ましてくれました。ほくが好きなのはオープンハウスです。キリストの教会の会員であることの祝福を人と分かち合うことができるからです。一番鼓舞されるのは奉仕活動です。それは、イエスが教えられたように

隣人に仕える機会が得られるからです。

1年前、二人の弟、15歳のルイスと12歳のイスラエルが教会に入りました。ほくたちは一緒に「神への務め」のプロジェクトに取り組んできました。二人がバプテスマを受けてから、ともに働くことによって素晴らしい経験を共有してきました。ワードの若い男性はとても仲が良く、支えています。

バプテスマが天の王国への入り口であることを知っています。わたしたちが同胞のために務めるとき、神のために務めているのです(モーサヤ2:17参照)。伝道は家族を祝福します。福音のおかげで、自分の人生が変わったことを知っています。

アルバロ・T, 17歳

## 自分の責任を学ぶ

**執**事するとき、両親と指導者の助けと、小冊子『神への務め』の目標に取り組むことによって、自分の責任を学びました。教師のときは、ホームティーチャーとして家族を訪問したり、宣教師デーのオープンハウスに参加したり、バナナブレッドを分かち合ったり、ミューチャルやワードとステークの活動に参加したりして、さらに多くのことを学びました。

祭司である今は、もっと伝道活動に焦点を当てることができるようになりました。若い男性会長とともに働き、ビショップの補佐として責任を果たす中で、神権者としての自分の責任についてさらに多くを学んできました。

ほくたちが伝道活動になじめるように、指導者はいつも彼らや専任宣教師と一緒に働くことを勧めてくれます。また、聖文、特にモルモン書を読むように熱心に励ましてくれます。これらの経験は全て、ほくが大神権を受け、専任宣教師として奉仕するための動機付けと備えになっています。

イサク・G, 17歳

## あなたの伝道体験

**あ**なたは小さくて簡単な方法で福音を分かち合ったことがありますか。それはどんな方法だったでしょうか。liahona.lds.org にアクセスし、「提出する」をクリックするか、liahona@ldschurch.org まで電子メールであなたの体験を送ってください。







## 空港での奇跡

みたま  
御霊の小さなささやきが

人々の人生を

より良く変えることがあります。

### トーマス・E・ロビンソン 3世

**日** 本に赴任したばかりの新米宣教師だったわたしは、人々の話す言葉を理解することはおろか、仲良くなることもできませんでした。知らない人を、特に何と言っているのか分からない人を愛するのは難しいことでした。でも、できるだけ愛を示そうと努力しましたし、わたしに手を差し伸べようと努力してくれる人々に感謝していました。

わたしと同僚は、毎週、センバ姉妹というワードの姉妹から手作りのパンをもらいました。彼女はパンを焼き、心のこもった短いメッセージを添えることで宣教師に愛を示しました。

わたしは誰かが自分を心に掛けてくれていることに感動しました。ささやかでも、自分の感謝の気持ちを伝えるべきだと感じたのです。そこで、センバ姉妹と家族が宣教師を助けるために払っている犠牲に心から感謝していると短い手紙を書きました。わたしたちは友達になり、わたしは彼女を「第2の母」と思うようになりました。

何か月か過ぎました。ある水曜の早朝、伝道部会長から電話があり、沖

縄へ転動するように言われました。電話を切ると、わたしはほろ苦い思いでいっぱいになりました。別れを言うのが嫌でたまりませんでした。ワードの会員に電話して、翌日に出発すると告げるたびに、心が痛みました。心から愛するようになった人々に別れを告げるのは、想像していた以上につらいことでした。

電話をかけ終わったとき、センバ姉妹だけが電話に出なかったことに気づきました。とても大事な存在になっていた会員に別れを言えないことを悲しく思いました。

翌朝、わたしは他の二人の宣教師と空港に向かいました。チケットカウンターに着き、航空券を買おうとしましたが、職員から全員のクレジットカードが使えないと言われました。現金で支払うだけの持ち合わせはなく、乗るはずの便はあと10分でお発進してしまいます。わたしたち3人は慌てふためきました。まさに飛行機に乗り遅れて、その日一日、空港で足留めされる寸前だったからです。

しかし、振り返り、空港に入って来るセンバ姉妹の姿が見えたとき、わたしのパニックは慰めになりました。わたしは彼女がそこにいることに衝撃を受けました。姉妹はわたしたちが何時の便でたつのか知らなかったからです。急いでわたしたちのところへやって来ると、彼女はほほえみながら、飛行機に持って行けるように一人一人にパンをくれました。

乗るはずだった便に乗り遅れそうだと説明すると、彼女は心を痛めたようでした。誰もどうしたらいいのか分かりませんでした。すると、センバ姉妹がハンドバッグの中をかき回し、

わたしたちの役に立つ物がないか探し始めました。彼女は小さな封筒を見つけると、喜びのあまり跳び上がりました。それは、何週間も前に5万円を入れてハンドバッグに入れておいたものでした。しかも、ちょうどわたしたちが必要としていた金額でした。彼女がそのお金をくれたので、わたしたちは時間内に航空券を手にすることができました。わたしたちはでき得る限りの感謝の気持ちを伝えて彼女に別れを告げ、急いで飛行機に乗り

## まことに主は小さな手段によって その御業を成し遂げられます。

込みました。

離陸してから、一緒にいた宣教師がわたしの方を向いて言いました。「すばらしい姉妹だよ。あれは奇跡だよ！」

どれほど奇跡的なことだったのか、わたしはそのとき初めて気がつきました。彼はそれから、「君にはどんなメッセージが書いてあったんだい」と言いました。彼がセンバ姉妹のくれたパンについていたメッセージを読んでいるのが目に入りました。自分にもメッセージがあるのに気づき、わたしの名前が記された小さな紙片を読みました。すると、瞬く間に目に涙があふれました。こう書いてあったのです。「あなたを愛していますよ。どうぞわたしを忘れないでください。わたしは決してあなたを忘れません。」

その瞬間、それまで感じたことがないほど強く御霊を感じ

ました。センバ姉妹の模範により、わたしは御霊のささやきに従うことの大切さを教わりました。そのささやきがどれほど取るに足りなく、あるいは変なことに思われたとしても、従うことが大切なのです。このような御霊のささやきを通して、わたしたちは生活をより良いものに変える力を受けます。わたしは、センバ姉妹が空港に来たのが偶然ではなかったことを知っています。それは確かに奇跡だったのです。

まことに主は小さな手段によってその御業を成し遂げられます。この教会の会員であるわたしたちは本当に祝福され、主の影響を生活の中に感じることができます。わたしたちが皆、このような御霊のささやきを受けられるふさわしさを保ち、神の子供たちの生活を祝福することができるようになりますように。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

編集後記：センバ姉妹が立て替えたお金は伝道部によって速やかに返却されました。





## 「わたしの母は 一日中働いています。 どうすれば親子の関係を 改善できるでしょうか。」

# あ

あなたはお母さんと頻繁に顔を合わせられないので、お母さんとともに過ごす時間を上手に使ってください。どのように過ごすかについてお母さんと話し合うとよいでしょう。お母さんもあなたと良い関係を持ちたいと思っているはずですし、そうするために力になってくれるでしょう。掃除の行き届いたきれいな家に帰って来ること、一緒に活動をする、あなたとおしゃべりをするなど、何をしたら喜んでもらえるかをお母さんに聞いてみましょう。あなたのお母さんが喜ぶ活動を定期的に行うことにより、あなたとの関係は改善するでしょう。

もちろん、一緒に行く楽しい活動を幾つか計画することもできますが、皿を洗ったり、聖文を読んだりしてともに過ごす有意義な時間はどれも、二人の関係を築くためのすばらしい手段となります。

その他に、話し合うための時間を取ってください。互いを理解することは良い関係を築くための大切な要素です。話し合うことの一つには、お母さんの仕事のスケジュールがあなたとの関係にどのような影響を与えているかということがあります。互いに期待していることを話し合うことによって誤解を避けることができます。

祈りが助けとなります。家族は天の御父にとって大切な存在ですから、お母さんとの関係を改善するための方法が分かるように靈感を与えてくださいます。小さいと思えることを行うように勧める促しを無視しないでください(アルマ 37:6 参照)。例えば、抱き合ったり、ほほえんだりすることにより、大きな違いが生まれることがあります。

### 短い手紙を書く



一緒にいる時間がほとんどない場合でも、お母さんへの愛を伝えることができます。思いやりのこもった秘密の手紙をお母さんに書いてください。その手紙を職場で読むとき、お母さんはあなたのことを考えるでしょう。お母さんにできるだけのことをしてください。もっと頻繁にお母さんのことを考えて、お母さんのために祈ってください。お母さんとの関係を改善できる方法について靈感が与えられ、促しが受けられるように主に願い求めてください。  
イリンカ・E, 20歳(ウクライナ, オデッサ)

### 母親を理解するように努める

お母さんの状況を理解するように努めましょう。お母さんはあなたの幸せのために働いているからです。家を掃除する、自分の兄弟姉妹の面倒を見る、料理をするなどして、家事を手伝うことから始めることができます。お母さんと一緒に聖文を読んだり、一緒に祈ったり、あなたが一緒に行いたい活動をしたりすることもできます。  
モロニー・M, 18歳(メキシコ, チワワ)

### 特別な日曜日を過ごす



わたしたちは「特別な日曜日」を決め、お昼御飯や夕食の後に目新しいデザートを食べ、おしゃべりをし、最後に賛美歌を歌います。このことがわたしたちの心を通い合わせ、もっと良い友達になる助けとなっています。  
レベッカ・N, 12歳(ブラジル, サンパウロ)

## 努力してみる

わたしたちは一緒に過ごす時間を作ります。例えば、家庭の夕べを開く、ゲームをする、海辺に行く、お昼御飯を一緒に食べるなどです。これら全ては、良い関係を保ち続ける助けとなります。意見が合わないときでも、批判しないようにします。わたしは時々、家事をしたくないと言いますが、これは家庭の中に不協和音を生じます。不平を少なくする、大きな声を出さない、家事をもっと手伝う、お母さんともっと話をするなどの努力を始めてから、家庭の中に幸せな雰囲気生まれ、さらに助け合うようになりました。

グレンダ・C, 18歳 (ブラジル, バイア)

## 家の手伝いをする



もう少し多くの家事を手伝うようにしてください。あなたのお母さんは一日中働いています。家に帰ったときにしなければならぬ家事が少なければ、もっと喜ぶでしょうし、あなたと話をしたり、何かをしたりする時間をもっと取れるでしょう。あなたが自分の話をしているとき、お母さんのその日の仕事についても尋ねてみましょう。それは、あなたがお母さんを気遣っていることを表し、他のことについて話し合うためのドアを開いて、もっと親密になることができるでしょう。

ヘザー・B, 18歳 (アメリカ合衆国, オレゴン州)

## あなたとお母さんがやりたいことを探す

わたしと母との関係は、わたしが「お母さんと過ごす時間をもっと欲しいのだけれど、どうしたらいいか、いつがいいのか分からないんだ」と言った

とき、大きく改善しました。ボードゲーム (訳注——チェスのような盤面でするゲーム) をすることは、わたしたちのお気に入りの娯楽です。そのようにして、遊んだり、笑ったり、思い出を作ったりするために一緒に過ごす時間を取っておきます。あなたが両親に対して心を開けば、やがて両親はあなたの最良の友となります。あなたは両親に何でも話すことができ、きっと誠実な答えをもらえるでしょう。これは、成熟した関係の印です。

エフライム・S, 15歳  
(オーストラリア, ニューサウスウェールズ)

## 一緒に聖文を読む

毎日5分でもモルモン書か教会の他の書物を一緒に読む目標をお母さんと一緒に立ててはどうでしょうか。そうすることにより、お母さんとの関係が強められ、神の言葉で養いを受け、毎日の生活に立ち向かうことができます。神に祈り、神の助けを求めることも忘れないでください。わたしは神があなたの祈りを聞き、あなたを愛しておられることを知っています。

ローラ・M, 19歳 (アルゼンチン, コルドバ)



## 母親から学ぶ

「従うべき模範として、信仰深いあなたのお母さんに頼ってください。主の標準に従っておらず、また永遠の観点に立った価値観を持っていないような有名人ではなく、お母さんを手本にしてください。お母さんに頼ってください。彼女の強さ、勇氣、忠実さから学んでください。お母さんの言葉に耳を傾けてください。お母さんは携帯電話でメールを送るのが苦手かもしれませんが、フェイスブックにも登録していないかもしれませんが、心について、また主については豊かな知識があります。」

十二使徒定員会 M・ラッセル・バラード長老  
「母と娘」『リアホナ』2010年5月号, 19

## 次回の質問

「両親は離婚したばかりです。わたしは両親が家庭を壊したことに怒りを覚えています。どうしたら両親を救<sup>ゆる</sup>せるのでしょうか。」

あなたの意見と、希望する場合は高解像度の写真を、2014年9月10日必着で [liahona.lds.org](mailto:liahona.lds.org) まで、あるいは電子メールで [liahona@ldschurch.org](mailto:liahona@ldschurch.org) まで、または郵送で (3 ページの住所を参照) お送りください。

掲載される際、誌面の都合上、あるいは<sup>かひよう</sup>明瞭な表現にするために編集されることがあります。

電子メールまたは手紙には、次の情報と同意文を必ず明記/同封してください。(1) 氏名、(2) 生年月日、(3) ワードまたは支部、(4) ステークまたは地方部、(5) 意見と写真の掲載を許可する、あなたの同意文 (18 歳未満の場合は保護者の同意文も必要です [電子メール可])。





中央若い女性会長  
ボニー・L・  
オスカーソン

# 重力に打ち勝つ 信仰をもって前進する

皆さんが靈的に前進し続けるとき、皆さんを靈的に弱めようとする  
外的な力が来ても、それを克服することができます。

**わ**たしは8歳のとき、初めて自転車を買ってもらいました。兄と父の助けを借りて自転車の乗り方を習いましたが、それはかなり怖い練習でした。近所の子供たちが自転車に乗ってさっそうと通りを行き来するとき、自転車に乗るのは非常に簡単で自然なことに見えました。地面から少なくとも3メートルも高く見える自転車のサドルに腰掛けたとき、自分が倒れないように支えるものは何もなく、重力の法則がしっかりと働いていることを実感しました。

自転車に乗る練習をしているとき、バランスを保ちたいと思ったら、ペダルをこぎ続けなければならないことをいち早く学びました。わたしが初めてサドルに腰掛けて道に出たとき、スピードは絶対に出たくありませんでした。バランスを取るだけで精いっぱいだったからです。しかし、間もなく前に進むために必要な知恵と物理の法則を理解しました。ペダルをこいで

いる限り、まっすぐに立った状態を保ち、ざらざらしたコンクリートに転んで腕や足の皮膚を擦りむかなくて済むのです。わたしはすぐに友達と、近所を自転車で走り回るようになりました。

自転車のペダルをこぎ続ける人が、重力の影響があってもまっすぐに立った状態を保てるように、行う全てのことにおいて聖霊の導きを受ける人は、悪の影響に立ち向かうことができます。

それは福音と『若人の強さのために』にある標準に従って生きることについても言えます。その小冊子に概説されている大管長会の勧告に従う

ならわたしたちの生活はバランスが保たれて安定する、ということを感じる信仰が必要です。そうすればわたしたちは行きたいと願うところに導かれるでしょう。

転倒しないようにするためには前進し続ける必要があります。それには、継続して忠実に以下の行いをするべきです。

- 朝と夜に祈る。
- 毎日聖文を研究する。
- 教会の集会に出席し、ふさわしい状態で聖餐せいさんを受ける。
- 周りの人々に奉仕する。
- 神殿に参入するふさわしさを保つ。

これらの全ての行いは、わたしたちを正しい方向へ前進し続けさせるものです。

『若人の強さのために』に書かれている標準を読んで精通することが、神の標準に一致した選択を確実に行う助けとなります。これらの原則に



従って生活し、戒めを守ることが、わたしたちの絶えざる伴侶となる聖霊を招きます。ちょうど自転車のペダルをこぎ続ける人が、重力の影響があってもまっすぐに立った状態を保てるように、行う全てのことに於いて聖霊の導きを受ける人は、悪の影響に立ち向かうことができます。

あなたがペダルをこぐとき、どこに行こうと思っていますか。アロン神権を持つ全ての若い男性にとって、専任宣教師になるために今準備をすることが今後の成長のために重要です。全ての青少年にとって、神殿に参入する準備をし、エンダウメントを受け、聖約を交わして守ることも主要な目標でなければなりません。

『若人の強さのために』の初めにある大管長会から青少年へのメッセージにあるように、「何をするときでも、神殿から心をそらさないでください。神殿で、皆さんは主の祝福の中でも最高の祝福を受けます。その中には永遠の

結婚も含まれます。』<sup>1</sup> 主の家で永遠の結婚の聖約を受け、義にかなった夫、妻、父親、そして母親になることは、遠い先のことに思えるかもしれませんが、準備を始めるときは今です。これら全てのことが、天の御父のもとで永遠の命を受けるといふ、最も栄光ある気高い目的地に通じているのです。

わたしが好きな聖文の一つが、目標に向かって進み続けるために行う必要のあることを次のように要約しています。「したがって、あなたがたはこれからもキリストを確固として信じ、完全な希望の輝きを持ち、神とすべての人を愛して力強く進まなければならない。そして、キリストの言葉をよく味わいながら力強く進み、最後まで堪え忍ぶならば、見よ、御父は、『あなたがたは永遠の命を受ける』と言われる。」(2 ニーフай 31:20)

ちょうどわたしが8歳の少女のとき、重力に打ち勝って自転車のバランスを保つためにペダルをこぎ続ける必要が

あることを学んだように、霊的に倒れないように生ける預言者と愛ある天の御父の勧告に頼り、わたしたち全てが信仰をもって前進し続けることが大切です。すぐ近くの目的地もありますが、忠実な生活を生涯続けて到達する目的地もあります。もしわたしたちが忠実であるなら、その道の終点に用意されている約束は確かで栄光あるものであり、到達するのに十分価値があるものです。■

注

1. 『若人の強さのために』(2011年), ii





## 日曜日のレッスン

.....  
今月のテーマ——

結婚と家族



### 結婚には価値があります

「結婚はきわめて報いの大きいものです。結婚はすばらしいものです。時がたつにつれ、夫婦は考え方が似てきて、同じ発想や印象を持つようになります。最高にうれしい時も、試練や困難の時も訪れますが、主は、二人が経験を通して成長する間、ずっと導いてくださいます。」

十二使徒定員会

リチャード・G・スコット長老

「結婚がもたらす永遠の祝福」

『リアホナ』2011年5月号, 96

# 結婚はなぜ すばらしいのですか!

わたしたちは結婚生活を楽しんでいます。以下がその理由です。

ベン・ニールセンとレイチェル・ニールセン

**最**初のデートの後、わたしたちは二人とも、2回目のデートを望んでいることが分かりました。レイチェルは親しみやすく、話をしていると楽しかったので、ベンはもう一度デートをしたいと思いました。ベンは尊敬できる人でした。デートのために慎重に作ったプランの全てがうまくいかなかった後でもほほえんでいたのも、レイチェルはもう一度デートをしたいと思いました。2回目のデートの後にさらに何回かのデートと祈りを重ねて、わたしたちは愛し合うようになり、カリフォルニア州サクラメント神殿で結婚することを決めたのです。

結婚の日はまったく完璧でした。それ以来、わたしたちは結婚生活を楽しんできました。世の中には結婚に対して異なった見方があるかもしれませんが、わたしたちは、「結婚ほど喜びをもたらす、善を生み、人を高める人間関係は他にない」<sup>1</sup> ことを知っています。結婚はすばらしいものです。以下がその理由です。

## ベンから — チームメイト

ブラジルで伝道している間に、わたしはサッカーが好きになりました。このスポーツでわたしが一番好きなのは、チームメイトがいることと、チームが一つになってプレーする方法を学ぶことでした。レイチェルはすばらしいチームメイトです。彼女はわたしが目標を達成できるように助け、大切な決定と一緒にいき、わたしが問題を抱えているときにわたしのそばにいてくれます。

神殿で結び固められたとき、わたしたちは「対等のパートナーとして互いに助け合う」<sup>2</sup> ことを約束しました。レイチェルとわたしは、あらゆることで互いに支え合う努力をしています。そして、信頼できるチームメイトがいつもいることを知るのはいすばらしいです。

## レイチェルから — 愛の表現

女性（と男性）の皆さん、事実を素直に受け入れましょう。自分を愛している人がいるのを知るのはいすばらしいことです。結婚していると、毎日愛を分かち合い、愛される機会があります。ベンと結婚するかもしれないと両親に話したとき、父はこう言いました。「おまえが結婚する相手に誰を選んだとしても、その男性には、リチャード・G・スコット長老のように、おまえに対する愛を絶えず誠実に表現してほしいと思っているよ。」<sup>3</sup> わたしは父の言葉に耳を傾けました。

わたしはベンと結婚することを決めました。彼はいつも自分の愛を大小様々な方法で表現する努力をしています。わたしが大学の最終学年であった間、有名企業の研修に合格するために何か月も準備し、申請書を提出し、面接を受けるために取り組んでいました。わたしがついにこの仕事に合格したとの知らせを受けたとき、家に帰ると夫が用意した花でいっぱいの花瓶が目に入りました。夫は、わたしがどんなに一生懸命に取り組んできたか、この有名企業での研修がわたしにとってどんなに大きな意味を持っているかを知っていました。またあるときには、彼が週末のスカウトキャンプに出かける前に、わたしの好きな飲み物と愛のメッセージを冷蔵庫の中にそっと置いてくれました。そして毎日、皿を洗い、わたしを笑わせてくれます。ベンは愛を表現するのがとても上手で、そのことがわたしたち二人に大きな喜びをもたらしています。





### ベンから — より多くの喜び

レイチェルとデートをするのはとても楽しいです。実際に、わたしたちは結婚してからも今までどおり頻繁にデートに行くようにしています。最初に会ったときから、公園を散歩する、演劇を見る、スポーツ観戦をする、新しい食べ物やちょっと変わった食べ物を食べる、音楽を鑑賞するなど、その他にたくさんの活動を楽しんできました。レイチェルと会う前もこのような活動が好きでしたが、今は二人で分かち合うことができるのもっと楽しいです。結婚することで、人生をともに楽しく過ごす伴侶が得られます。そのことが人生をすばらしいものにするのです。

### レイチェルから — 永遠の同僚宣教師

ベンに会う前、わたしは伝道に出る年齢に近づいていたので、専任宣教師として奉仕することを真剣に考えていました。しかしその後、ベンがわたしの人生に入って来たことで、天の御父がわたしに別の計画をお持ちであることを知りました。

ベンとわたしが婚約したとき、伝道に出るというわたしの考えを知っていた親戚の人がわたしの選択について質問しました。そこでわたしはこう答えました。「自分自身の同僚宣教師を選ぶことに決めたの。そして彼と永遠に人生を共にするの。」

結婚していると、あなたとあなたの伴侶は救いの業とともに携わる機会があります。ベンとわたしは、キリストを中心とした家庭を築き、福音をともに学んでそれに従って生活し、教会で奉仕し、人をキリストのもとに招くことに大きな

喜びを見いだしています。神の王国を築くためにともに働くとき、もっと親密になり、愛は深まり、人生は充実したものとなります。

### わたしたちが保証します

世の中が何と言おうと、本当に結婚はすばらしいものです。そして、実際に優先する価値があるものです。結婚すると、あなたにはチームメートがいます。愛し愛され、より一層人生を楽しみ、神の王国をともに築く人がいるのです。それら全てが大きな喜びをもたらします。わたしたちは神殿で結び固められているので、この喜びを永遠に持続することができます。わたしたちが神殿の聖約を守るなら、わたしたちは永遠に一緒にいて、神権の最高の祝福を受けるのです。わたしたちは、「結婚生活の中に人生における最も豊かな充足感を見だし」<sup>4</sup>しました。■

著者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

#### 注

1. L・ホイットニー・クレートン「結婚——よく見て覚えましょう」『リアホナ』2013年5月号, 83
2. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129
3. リチャード・G・スコット「結婚がもたらす永遠の祝福」『リアホナ』2011年5月号, 96 参照
4. ジェームズ・E・ファウスト「結婚生活を豊かにする」『リアホナ』2007年4月号, 4

## 話し合いに参加する

### 日曜日に備えて、深く考える事柄

- 最も堅固で幸せな結婚と家庭を築くには、どのような資質と態度が必要だろうか。
- あなたが将来結婚して堅固で幸せな家族を築くために、今どのようなことをしているだろうか。

### 実践してみること

- 結婚して家族を持つための目標を何人かの友達と分かち合い、その理由について話し合う。
- 教会で、あなたがなぜ結婚して家族を築くことを心待ちにしているか、またそのためにどのような準備をしているかについて分かち合う。

とくべつ しょうにん  
特別な証人



じゅうにしとていんかい  
十二使徒定員会

ジェフリー・R・  
ホランド長老

じゅうにしとていんかい かいぎん  
十二使徒定員会の会員は、  
イエス・キリストの  
特別な証人です。

きょうかい しんじつ  
教会が真実であると  
しん  
信じているだけで  
いま じゅうぶん  
今は十分ですか？



あなたには、  
自分が考える以上に  
信仰があります。

しん  
信じることはいつも、  
何かを知るための  
最初の一歩です。

さらに深い知識が得られるまで、  
もうすでに知っていることに  
かたくつき、  
しっかりと立ってください。

イエス・キリストご自身が、  
「おそれることはない。  
ただ信じなさい」と言われました  
(マルコ 5:36 を見ましょう)。

「主よ、信じます」  
『リアホナ』2013年5月号、  
93-95から



「しんこう ま信仰を増してください。  
しんこう せんげん信仰を宣言してください!  
しんこう あらわ信仰を表してください!」

じゅうに しとていんかい  
十二使徒定員会  
ラッセル・M・ネルソン ちやうろう長老





# わたしは せいいいを感じました。



イーチェン さい タイワン  
以真, 6才 (台湾)

**わ**たしはよく、お父さんと  
お母さんに「せいいいを感じ  
る」とはどういうことか聞き  
ました。二人から教えてもらいま  
した。それがどんな感じなのか、よく  
分かりませんでした。お母さんは、と  
ても良い気持ちだと教えてくれました  
が、やっぱりまだその意味が分かりま  
せん。

ある日の朝、1才の弟が走り回っ  
ていて、うっかりストーブに頭をぶつけ  
てしまいました。大きな傷ができて、  
血が出て、弟は泣いていました。

わたしはとてもこわくて心配しま  
した。お母さんが傷の手当てを  
してばんそうこうをはりました。  
それからわたしを学校に連れて  
行ってくれました。

学校に行っても、わたしはまだこわ  
くて、弟のことが心配でたまりません  
でした。そのとき、いのれることを  
思い出しました。わたしはトイレに

行き、天のお父様に、弟を祝福して  
くださるように心からいのりました。  
いのった後、こわい気持ちはなくなり  
ました。わたしはとても平安な気持  
ちを感じて教室にもどりました。

その日、家に帰る途中、その出来事  
をお母さんに話しました。お母さんは  
喜んで、わたしが感じた温かい、平安  
な気持ちは、せいいいがわたしをなぐ  
さめてくださったのだと教えてくれま  
した。ふつう、せいいいは人がわたし  
たちに話しかけるように話されること  
はないけれども、平安な気持ちをあたえ  
てくださると言いました。

その後、わたしはせいいいを感じた  
ときに気づくことができました。お父  
さんがお母さんに祝福をしたとき、わた  
しは目をとじて、とてもけいけんでい  
るようになりました。そのときまた、温か  
い気持ちを感じました。もっと簡単  
にせいいいを感じるために、けいけん  
になる必要があると知っています。■

イラスト シェームス・ジョンソン



# アイサの祝福

マッケンジー・バン・エンゲレンホーベン  
実話をもとに書かれました。

「あふれる神権の祝福と喜び」  
（「愛の言葉」  
『子供の歌集』102 - 103）

「何気になることでもあるの？」  
お母さんと二人、路面電車で教会から帰る途中、お母さんがアイサに聞きました。

アイサはアムステルダムの町の通りを十字に流れる水路を見つめながら次のように言いました。「初等協会の先生が、家庭に神権があるのは祝福だと言ったの。でも、お父さんは神権を持っていないから、うちは祝福を受けられないのね。」

「お父さんが教会員でなくても、家庭に神権をいただくことはできるのよ」とお母さんが言いました。「ワードには、たくさんのふさわしい神権者がいて、あなたを助けてくれるわ。ホームティーチャーのバン・リユーエン兄弟もいるでしょう？」

アイサはバン・リユーエン兄弟が好きでした。いつも「ストループワッフル」というアイサの大好きなクッキーを持って来てくれるし、アイサの得意な理科のことを話してくれるからです。でも、教会ではかの子供たちが、病気のときやがっかりしたときにお父さんから神権の祝福をしてもらったことを話すのに、アイサはお父さんに祝福をさずけてくれるようにたのめないのです。

「わたし、お父さんが大好きよ。でも、お父さんが神権を持っていたらよかったな。」アイサは言いました。  
二人が家に帰ったとき、お父さんは

キッチンで夕飯を作っていました。「教会はどうだった？」と話しかけてくれました。

アイサは答えず、自分の部屋に行って、ベッドにボタンと横になりました。こんなじゃなかったらよかったのに、とおもいました。

次の週、アイサは学校で大事なテストを受けなければなりません。オランダの子供たちは、12才になると全員、次の年に行く学校を決めるためにテストを受けることになっています。アイサは一生懸命勉強してきました、じゅんぴができていましたが、とてもきんちょうしました。前のばん、胃の中に何かがつまっているようで、ねむれません。ベッドの中で何度もね返りしながら、心配なときにも神権の祝福をお願いしてもいいと初等協会です。習ったことを思い出しました。お父さんからは祝福を受けられないけれど、天のお父様をお願いしたら助けてくださると分かっていました。

アイサはベッドから起き上がって居間に行きました。お母さんは仕事に行っていて、お父さんはソファにすわってテレビを見ていました。

「大丈夫かい？」とお父さんが聞いてくれました。

「あしたのテストのことで、とってもきんちょうしているの。バン・リユーエン兄弟に電話して、祝福をしてもらえるようにお願いできるかしら？」とアイサは言いました。

「それはいい考えだね。お父さんが電話をしてあげよう」とお父さんが言いました。

間もなくして、バン・リユーエン兄弟

がむすこのジャーンを連れて来てくれ、アイサに祝福をさずけてくれました。バン・リユーエン兄弟は天のお父様に、テストのことできんちょうせず、テストで良い成績が取れるように助けてくださいとお願いしてくれました。バン・リユーエン兄弟がアイサに祝福をさずけてくれているとき、お父さんはうでを組み、目をとじてソファにすわっていました。

祝福を受けた後、アイサはずっと気分が良くなりました。もう胃もきりきりしなくなりましたし、少しねむくなったようです。バン・リユーエン兄弟が、帰りがけに「あした、うまくいくといいね。今まで一生懸命がんばってきたから、力を出せるようにきつと天のお父様が助けてくださるよ」と声をかけてくれました。

「アイサが信仰を持っていることをほこりに思うよ。」アイサをベッドに入れながら、お父さんが言いました。「お父さんは教会員ではないけれど、アイサが神様を信じていることをうれしく思っているし、そしてお父さんも神様を信じているってことをアイサに知っておいてほしいな。」





「わたしたちはじょうきょうがどうであれ『あふれる神権の祝福と喜び』のうちにいつも生活することができます。」

十二使徒定員会 ニール・L・アンダーセン長老  
「神権に宿る力」『リアホナ』2013年11月号, 92

「ありがとう、お父さん。」アイサがそう言うと、お父さんがほおにキスをしてくれました。

アイサはふとんにくるまりながら、幸せで平安な気持ちを感じました。自分のことを愛してくれるお父さんがいることに感謝しました。お父さんが天のお父様とイエス様を信じていることをうれしく思いました。そして、神権によっていつも自分や家族が祝福されることが分かりました。■

筆者はアメリカ合衆国マサチューセッツ州に住んでいます。







しちじゅうにん  
七十人  
やましたかずひちじゅうろう  
山下和彦長老

# やさしいライオン

「神の子です わたしやあなた」  
『子供の歌集』2)

わたしの好きな物語の一つは、「やさしいライオン、ランバート」というお話で、何年か前にマンガになり、有名になりました。

ランバートは子供のライオンで、生まれたときから羊のむれと一緒にくらしていました。そのため、自分のことを羊だと思っていました。ある春の夜、ランバートが羊たちとすやすやねっていると、突然遠くでオオカミのこわい遠ほえが聞こえました。自分が羊だと思っていたランバートは、ぶるぶるとふるえ始めました。

オオカミの遠ほえはますます大きくなり、オオカミは近づいて来て、羊を1匹引きずって行ってしまいました。ランバートは突然、今まで感じたことのないような強い気持ちが心の中にわき起こってくるのを感じました。ランバートはいはずまのように、オオカミのところへ走って行き、その羊を助け出しました。

そのとき、ランバートは気づいたのです。「ぼくは羊じゃない。羊の子じゃないんだ。ぼくはライオンの子なんだ。」ランバートは考えました。オオカミを追い払い、羊を守ったとき、自分が持つ本当のせいしつが分かったのです。

みなさんは神の子です。神はみなさんを愛しておられます。地上に生まれる前、わたしたちは一人一人、天のお父様の家族の中で、お父様から愛されたれいのむすこやむすめでした。でも、多くの人がこのことに気づいていません。もしもわたしたちが、自分が何者かが分かったら、ライオンのように、悪いものを追い払い、人々を守り、道を見失うことはないでしょう。

福音のすばらしいたまものと救いの計画に感謝しています。自分が何者であるかを知っているのです。ランバートのように強くなれることに感謝しています。■

イラスト シェルト・ベックストロム





# わたしたちの ページ



ぼくは、イエス・キリストが つくられた  
すべてのものが 大きいです。

ヨウエン さい タイワン  
祐恩, 6才 (台湾)



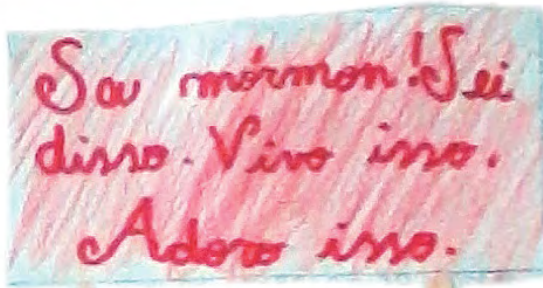
だい2 ニーファイ 30 : 12 - 15 には、  
福千年について書かれています。  
福千年になったら、すくい主にお会いしたり、  
動物たちと 遊んだりできたら いいなと 思います。

ヨウロウ さい タイワン  
語柔, 10才 (台湾)



これは、あんそく日を きよく まもるときに  
うける、しゆくふくの 絵です  
(教義と聖約 59 : 16 を見ましょう)。

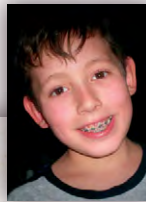
ぼくは どうぶつが 大きいです。  
ヨウロウ さい タイワン  
祐任, 8才 (台湾)



「わたしはモルモンです！ 知っています。じっせんしています。大きいです。」  
ラウラ・N, 8才 (ブラジル)



「少年と海」 ヒラマン・G, 11才 (メキシコ)——  
この作品は、海軍長官主催の美術コンテストで入賞しました。



お父さんと一緒にアルゼンチン・ブエノスアイレス神殿に行ったとき、  
神殿の中で、神聖で美しい部屋をたくさん見ました。オープンハウスの  
ときだったので、たくさん  
の人が神殿を見に来ていま  
しました。もうすぐ神殿に入って  
死者のためのバプテスマが  
できる年になります。ぼくは  
イエス・キリストと家族を  
愛しています。

ギド・R, 10才 (アルゼンチン)







マロエ  
レレイ！\*

わたしは、トンガの  
カロニです

わたしは かぞくと  
かいがんに 行って、  
すなの 上や 海の中  
あそぶのが 大好きです。



わたしは ダンスや スポーツを したり、  
絵を かいたりするのが すきです。  
セミナーの たてものに、  
すくいの 計画の へきがを 作るのを  
手つだいました。

わたしは、  
月曜日から 金曜日までは、  
学校の せいふくを きます。  
そして、かぞく みんなで  
学校に 歩いて 行きます。

お父さんは 高校で はたらいていて、  
お母さんは セミナーの 先生を  
しているからです。  
わたしには おねえさんの ドロシーと、  
おにいさんの ネルソンが います。







お母さんと おばさんたちは、  
 いつか わたしたち にと ぜんいんが  
 でんどうに 行くための お金を ためられるように、  
 かぞくの プロジェクトを はじめました。  
 みんなで チキンカバブ(くしやき りょうり)と  
 オタイ(ココナツと くだもの  
 ジュース)を作って、毎週 土曜日に、  
 のうかの 市場で 売ります。

エイミー・ジェーン・  
 レビットとの インタビューから

ト ンガ 王国の カロニと  
 友だちに なりましょう。  
 カロニが すむ たくさんの  
 しまは、「親しみやすい しま」  
 とよばれています。

クリスマス の日に、かぞく  
 で 外に ピクニックに 出  
 かけたことは ありますか？  
 カロニの かぞくは、クリス  
 マスの じきに、かいがんで  
 ピクニックを するのが 大す  
 きです。みなみ 南はんきゅうでは、  
 12月が 夏なので、クリス  
 マスに ピクニックを して  
 も、だいじょうぶなのです！  
 10才の カロニは、おじさん  
 や おばさん、いとこたちと  
 楽しい 休日を すごすのが  
 すきです。■

\*トンガ語で  
 「こんにちは、友だちの みなさん！」  
 という いみです。



わたしは 大学に 行って、  
 お母さんのように  
 セミナリーの 先生に  
 なりたいです。  
 でんどうにも 行って、  
 しんでんで けっこんも したいです。  
 でも 今は、うつくしい  
 パラダイスの しまでの 生活を  
 楽しもうと 思います。



しんでんを 見るのが 大すきです



かぞくで 学校に 歩いて 行く とちゅう、  
 しんでんの よこを 通ります。  
 しんでんを 見ると、  
 へいあんを かんじます。  
 いつか 中に入れる 白が、  
 まちきれません。



じゅんび オーケー！  
 カロニの スーツケースには、  
 お気に入りのものが 入っています。  
 あなたが 自分の スーツケースに  
 入れたいものは どれですか。



写真：カロニ、家族のメンバー、オタイ、マーケット、ローレン



# けんぜんな かつどうは わたしの かぞくを 強めます



ジェニファー・マディー

ルーカスはたいくつでした。いっしょにあそべる人をさがして、家の中を歩いてみました。おにいさんのベンは、コンピューターであそんでいました。おねえさんのソフィーは友だちにメールをしていました。お母さんは手紙に目を通してました。お父さんは読書をしていました。

「たいくつだなあ」とルーカスは言いました。お父さんが本から顔を上げてたずねました。「どういいういみだい?」

「ぼくたち、何もいっしょにやらないんだもの。みんな自分のやりたいことやっているでしょ」とルーカスは言いました。

お父さんは本をとじて言いました。「ルーカスの言うとおりで。かぞくみんなをあつめて、いっしょに何かしよう。」

ルーカスはにっこりして「やったあ!」と言いました。

数分後、ルーカスのかぞくはあつまってすわり、何をしようかと考えました。ソフィーは友だちにメールをおくりたかったし、ベンもコンピューターゲームをつづけたいとおもっていました。

「友だちのボールは、かぞくでさんぽに行くのがすきだよ。それから、アレキサンダー

のかぞくは、スポーツをするのがすきだよ」とルーカスが言いました。

でも、ソフィーはあついときに外には行きたくありませんでした。そして、ベンも足首をいためてしまったので、スポーツはできませんでした。

「それは、あなたの友だちが楽しいと思うことでしょう、ルーカス。でも、わたしたちのかぞくは何をするのがすきかしら」とお母さんが言いました。

ベンも、ボードゲームをするのがすきだと言いました。ソフィーは本を読むのがすきだと言いました。ルーカスは、レーシングカーがすきだと言いました。

「じゃあ、今できることをその中から一つえらぼう」とお父さんが言いました。「まず、ボードゲームをやらないか?」

すぐにみんながゲームのまわりにあつまり、ゲームをはじめました。しばらくすると、ソフィーがけいたい電話をおきました。ベンもコンピューターを見るのをやめました。ゲームがおわるころには、ぜんいんがにこにこしていました。でも、ルーカスのえがおがいちばんかがやいていました。■

このお話を書いた人はアメリカのユタしゅうにすんでいます。

## うた歌

- ・「かぞく」  
〔リアホナ〕2004年4月号、  
「フレンド」F11)

## かぞくで話し合うためのアイデア

よげんしゃや使徒たちはわたしたちに、かぞくでいっしょに時間をすごすことは大切だと教えています。かぞくといっしょにいろいろなことをすることで、おたがいのことを知ったり、いっしょに楽しんだりできます。あなたのかぞくは何をするのがすきですか? そのかつどうをすることで、かぞくがどのようにもっとなかよくなれるか、話し合しましょう。今月、かぞくで新しいかつどうをするもくひょうを立ててもよいでしょう。

楽しい 1 か月

今月、どんな かつどうを したいか、かぞくと いっしょに 計画してください。この ページに 書かれている かつどうを 計画するときは、絵を 切りとり、その かつどうを する 日に、テープや のりで はりつけます。自分で 考えた かつどうを 計画したいときは、何も 書いていない 紙に その かつどうの 絵を かいて 使ってください。



# 2014年8月

					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						



ゲームを する



さんぽに 行く



しんでんに 行く



サイクリングに 行く



およぎに 行く



かていの タベを する



みんなで いっしょに 歌う



スポーツを する



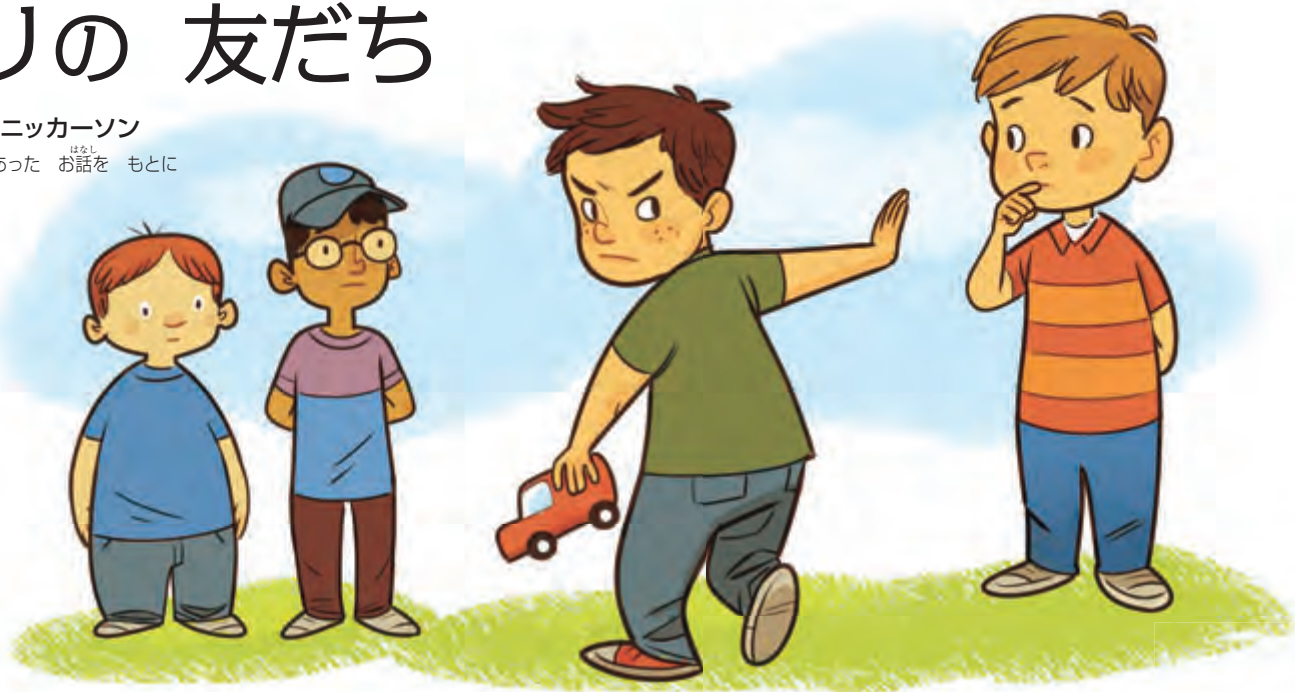
ものがたりを 読む



# エリの 友だち

ジェーン・ニッカーソン

ほんとうに あった お話を もとに  
書かれました。



エリは よい 友だちになろうと しました。でも、ウィルは エリと あそんでくれません。

「もし エリと あそぶなら、ぼくとは あそべないからな。」ウィルは、ジェークとダニーに 言いました。



エリは、ウィルに ていねいに おねがいでみましたが、ウィルは「だめだね。あっちに 行けよ」と 言うのです。



エリは、ほかの <sup>おとこ</sup> 男の子たちが おにごっこを しているとき、なかまに <sup>い</sup> 入れて もらおうと しましたが、だれも エリを おいかけて くれません。



ある日、エリは <sup>がっこう</sup> 学校に おもちゃを いくつか もって <sup>い</sup> 行きました。 <sup>あた</sup> 新しく クラスに <sup>はい</sup> 入った エマという <sup>おんな</sup> 女の子が、エリが <sup>あそぶ</sup> あそぶの <sup>み</sup> を 見ていました。「ぼくと いっしょに あそびたい?」と エリが <sup>き</sup> 聞くと、「ええ、おもしろそうね」と、エマは <sup>い</sup> 言いました。





ジェークと ダニーも 「ぼくたちも いっしょに あそんでいい?」と  
きいてきました。

「いいよ」と、エリは 答えました。



ウィルは さびしそうでした。  
「おいでよ、ウィル。きみも いっしょに あそぼうよ」と、  
エリは 言いました。■



# おもちゃを いっしょにつかう

あそび場に ある おもちゃを さがしてください。  
それから、おもちゃを 友だちと いっしょにつかっ  
ている 子どもたちが 何人 いるか 数えてみて  
ください。





## 恐れを 信仰と置き換える

キャサリン・ネルソン

**親**友はわたしを見るとすぐに、様子がおかしいのに気づきました。「わたしたち、別れたの。」わたしは静かにそう伝えました。それまで付き合っていた男性と長い時間話し合った後、家に帰る途中でした。わたしたちは二人とも、別れるのが悲しいと感じていましたが、お互いにとって正しいことだという点では一致していました。

でも、数週間がたつうちに、自分の決断は正しかったのだろうかと不安になり始めました。もしも誰か他の人が見つからず、結婚できなかつたらどうしよう、性格の不一致をあまりに大きなこととして捉えてしまったのだろうか、と考えたのです。

とても孤独で不安だったので、もう一度二人の関係をやり直そうという気持ちがあるかどうか彼に確かめてみようかとさえ考えました。十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老が話したように、わたしは「現状に満足しておらず、将来に対して暗い見方しかできない」状態でした。<sup>1</sup>

彼と別れて数週間がたったある夜、わたしは救い主の復活について書かれている部分を読んでいた。ルカによる福音書には、救い主が墓に納められて3日目に、救い主に忠実に従う者たちが、その体に香料を塗るために墓に行くと書かれています。しかし、墓を覆っていた岩は動かされており、救い主の体はなくなっていました。すると二人の天の使いが彼らに現れて



もしも誰か他の人を見つけれず、結婚できなかつたらどうしよう。

こう告げました。「あなたがたは、なぜ生きた方を死人の中にたずねているのか。そのかたは、ここにはおられない。よみがえられたのだ。」(ルカ 24:5-6)

天の使いが尋ねた質問を読んだとき、わたしは突然強い力に打たれたように感じました。イエスの墓を訪れた人々が、救い主を見つけようとして、間違った場所を探していたと気づいたときにどのように感じたかについて、それまで考えたこともありませんでした。イエスが朽ちる墓を去られ、栄光のうちに復活されたと信じるのはどれほど難しかっただろうと、初めて考えました。

聖文には、穏やかながら叱責<sup>しっせき</sup>の言葉が記されています。救い主の友人たちと同じように、わたしも別のところに慰めを求めていたことに気づきました。過去をさまよい、「むなしく昨日を求め」ても、慰めは得られず、実りある行動に駆り立ててはくれませんでした。<sup>2</sup> 過去の経験が横たわる墓を見ることはやめなければならないと気づきました。恐れを信仰に置き換え、救い主はわたしの過去の経験から新たな人生を作り出すことがおできになると信頼する必要がありました。

自分の選を悔やんでいるときや、過ぎ去った過去に戻りたいと思っているとき、その聖句についてよく考えます。救い主のおかげで、わたしたちは再びやり直すことができます。救い主のおかげで、「過去は、そこから学ぶべきものであり、生きるべき場所ではない」と知っているのだから、「輝く経験を振り返り、灰ではなく、残り火を得る」ことができます。<sup>3</sup> 後悔しながら時間を無駄にすることなく、信仰を抱いて将来を待ち望むことができるのです。■

### 注

1. ジェフリー・R・ホランド "Remember Lot's Wife" (ブリガム・ヤング大学デイポーショナル, 2009年1月13日), 3
2. ジェフリー・R・ホランド "Remember Lot's Wife," 2
3. ジェフリー・R・ホランド "Remember Lot's Wife," 2

# 洞察



**どのような選択が家族の幸福につながるのでしょうか。**

「御父は一人一人の人を個性的な者とされました。二人としてまったく同じ経験をする人はおらず、二つとして同じ家族はありません。ですから当然、幸福な家族生活を選ぶ方法に関する助言は簡単ではありません。しかし、御父は全ての子供たちに、幸福へ通じる一つの道を備えられました。個性や経験がどうあれ、幸福の計画は一つしかありません。その計画とは神の全ての戒めを守ることです。」



# 今月号のその他の記事

## ヤングアダルト



### 多年にわたって住むかのように この地で行動する

42  
ページ

あなたの人生におけるこの時期は、急速な変化に満ちています。しかし、あなたには、限られた時間であっても、自分が今いる環境の中で最善を尽くすことができます。

## 青少年

62  
ページ

### 結婚はなぜ 素晴らしいのですか!

わたしたちが保証します —  
あなたは自分の永遠の伴侶という同僚との  
結婚生活を楽しむようになります。  
その理由を紹介しましょう。



## 子ども



### やさしい ライオン

70  
ページ

ライオンのランバートは、自分は羊だと思って  
いました。そんなとき、こわいオオカミが現れ  
たのです。

